

# 彙報

## 業務日誌

平成二七年(二〇一五年)

- 1・5 仕事はじめ。
- 1・6 教養教育科目総合科目授業「広島大学のスペシャリスト」第  
一回「大学入試の状況変化と広島大学の対応を学ぶ」(入  
学センター・永田純一)を開講。
- 1・7 教養教育科目総合科目授業「広島大学のスペシャリスト」第  
二回「学芸員の仕事と大学博物館」(総合博物館・佐藤大規)  
を開講。
- 1・13 財務企画グループにて内部監査を実施(村上)。
- 1・14 福岡出張(小宮山)◇福岡教育大学(学術情報センター)主  
催「大学史編纂にかかわる学習会」講師として「年史編纂事  
業―広島大学五〇年史の経験から―」を報告。
- 1・19 教養教育科目総合科目授業「広島大学のスペシャリスト」第  
一三回「就職状況とキャリア支援」(キャリアセンター・田  
中孝憲)を開講。
- 1・22 病院情報システムグループ・患者支援グループにて内部監査  
を実施(村上)。
- 1・26 教養教育科目総合科目授業「広島大学のスペシャリスト」第  
二回「我が家の近代史」第七回「個別指導 実際に書く  
には」(全講師)を開講。受講生八名に修了証書を授与。  
公開講座「我が家の近代史」第二回同窓会大会をマーマイド  
カフェにて開催。会員三五名、講師五名が参加。  
広島市出張(石田)◇檜山洋子氏所蔵の原爆瓦に関する打合  
せ。資料受贈。
- 2・23 文書館ミーティング。
- 1・27 1・29 学生生活支援グループにて内部監査を実施(村上)。
- 2・2 教養教育科目総合科目授業「広島大学のスペシャリスト」期  
末レポート受付を開始(九日締切)。
- 2・3 附属東雲小学校・中学校にて内部監査を実施(小池)。
- 2・5 教育推進グループにて内部監査を実施(村上)。
- 2・9 広島市出張(石田・齋藤拓海・平下義記)◇平成二六年度広  
島県市町公文書等保存活用連絡協議会第二回研修会に出席。  
大学院工学研究科にて内部監査を実施(村上)。
- 2・9 大学院教育学研究科にて内部監査を実施(小池)。
- 2・16 大学院理学研究科にて内部監査を実施(村上)。
- 2・17 総合博物館に展示ケースを移管。  
文書館ミーティング。
- 2・20 法人文書管理システムの定例打合せに出席(村上)(於情報  
化推進グループ)。
- 2・21 公開講座「我が家の近代史」第七回「個別指導 実際に書く  
には」(全講師)を開講。受講生八名に修了証書を授与。  
公開講座「我が家の近代史」第二回同窓会大会をマーマイド  
カフェにて開催。会員三五名、講師五名が参加。

一四回「校友会・君といつまでも」(文書館・小池聖一)を  
開講。

- 2・24 文書館ミーティング。
- 2・25 本館廊下及びマイクロ室への棚増設および耐震のための棚固定工事。
- 2・26 竹原市出張(石田) ◇受託研究市立竹原書院図書館古文書整理事業を実施(二七日まで)。
- 2・27 大学院法務研究科、病院クラークグループにて内部監査を実施(村上)。
- 3・4 文書館運営委員会を開催。
- 3・5 閲覧室展示ケース納品。
- 3・12 共通事務室にて法人文書の選別・移管を実施。
- 3・13 浅原利正学長インタビューを実施(小池・石田・平下)
- 3・23 原田康夫関係文書(追加) 寄贈のため飛田副理事(校友会担当)が来館。
- 3・24 浅原利正学長インタビューを実施(小池・石田・平下)  
文書館ミーティング。
- 3・25 安芸高田市出張(村上) ◇第三八回安芸高田市公文書等管理・情報公開・個人情報保護審査会出席。
- 3・30 広島市出張(小池・石田・平下) ◇金井利博関係文書の整理打合せのため山本一隆氏事務所を訪問。
- 4・2 平成二七年度広島大学新採用教職員研修(四月)において「広島大学の歴史と建学の精神を考える」を講義(小池)(於中央図書館ライブラリーホール、一一四名(教員七三名、職員四一名)受講)。
- 4・7 大竹市出張(石田) ◇受託研究による文書調査。
- 4・9 平成二七年度広島大学新採用職員基礎研修において「広島大学の歴史―初代学長・森戸辰男を中心に―」(小池)を講義(於法人本部四F会議室、一二名受講)。
- 4・13 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第一回「歴史に学ぶ広島大学」(小池)を開講。
- 4・16 大阪出張(石田) ◇全国大学史資料協議会西日本部会二〇一五年度第一回幹事会に出席(於関西学院大学梅田キャンパス)。
- 4・20 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第二回「広島大学の源流」(酒井真)を開講。
- 4・21 近藤憲男関係文書(第二次)を受贈。
- 4・23 広島市出張(石田) ◇新見博三氏に紛争後の学生生活(オリエンテーションキャンブ中心)についてインタビューのため。
- 4・23 平成二七年度広島大学新採用職員基礎研修において「国立大学法人人としての公文書管理」を講義(小池)(於法人本部四F会議室、一二名受講)。
- 4・27 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第三回「原爆と広島大学」(酒井)を開講。
- 4・28 文書館ミーティング。
- 4・30 広島市出張(石田) ◇原爆放射線医科学研究所調査。

- 5・7 広島市出張(石田・平下・菊池達也)◇延岡啓慶氏旧宅調査。「現代ジャーナリズム論」講義のため資料寄贈者大牟田聡氏が来館。受贈手続き等について相談。
- 5・11 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第四回「新制広島大学はこうして生まれた」(石田)を開講。
- 5・18 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第五回「広島大学の入試と学生たち」(小宮山)を開講。
- 5・20 大阪出張(小池)◇全国大学史資料協議会西日本部会二〇一五年度第二回幹事会・総会・第一回研究会に出席(於常翔学園本部)。
- 5・25 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第六回「広島大学の理念と象徴」(石田)を開講。
- 5・26 文書館ミーティング。
- 5・28 広島市出張(石田・平下)◇中国新聞社所蔵の金井利博関係文書を調査。
- 5・29 広島市出張(村上・平下・菊池)◇広島県市町公文書等保存活用連絡協議会平成二七年度第一回総会に参加。
- 6・1 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第七回「学長たちの横顔(一)―初代学長森戸辰男から川村智治郎まで―」(小池)を開講。
- 6・2 広島市出張(小池・石田)◇資料寄贈者檜山洋子氏との打合せ。
- 6・4 佐久間澄関係文書調査のため楠忠之氏および古田文和氏(広島県原水協事務局長)が来館。
- 6・5 広島市出張(村上)◇マイナンバー制度講習会に出席(於広島商工会議所)。
- 6・8 東京出張(小池・村上)◇「国際アーカイブズの日」記念講演会(於ベルサール飯田橋駅前・国立公文書館)(九日 全国公文書館長会議・実務担当者意見交換会等、於ベルサール飯田橋駅前・宮内公文書館)。
- 6・8 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第八回「広島大学の学生生活」(小宮山)を開講。
- 6・15 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第九回「学長たちの横顔(二)―飯島宗一から浅原利正まで―」(石田)を開講。
- 6・18 総合科学部「文書管理論」において法人文書管理に関する実地見学実施(於財務・総務室総務グループ、文書館公文書分室)(一八名出席)。
- 6・22 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第一〇回「統合移転でつづる広島大学」(石田)を開講。
- 6・23 文書館ミーティング。
- 6・26 安芸高田市出張(村上)◇第三九回安芸高田市公文書管理・情報公開・個人情報保護審査会に出席。
- 6・29 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第一一回「広島大学の教師たち」(小宮山)を開講。
- 7・1 広島市出張(小池・石田)◇企画展示設営作業。
- 7・3 企画展示「原爆白書運動と広島大学」第一期を開催(於旧日

- 本銀行広島支店一階ロビー、六日まで)。  
 広島市出張(小池・村上) ◇企画展示監視。  
 7・4 広島市出張(小池・小宮山・石田・村上) ◇企画展示講演会  
 を開催。「金井利博と原爆白書運動」(小池) を講演(五七名  
 参加)。  
 7・5 広島市出張(小宮山) ◇企画展示監視。  
 7・6 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第一二回「総  
 合科学部の光と影」教養部改革と総合科学部の創設」(小  
 池) を開講。  
 広島市出張(村上) ◇企画展示監視。  
 7・7 広島市出張(小池・石田) ◇企画展示撤収作業。  
 企画展示の第二期準備移設作業。  
 7・8 企画展示「原爆白書運動と広島大学」第二期を開催(於中央  
 図書館地域・国際交流プラザ、一五日まで)。  
 7・9 図書館地域・国際交流プラザ、一五日まで)。  
 7・13 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第一三回「国  
 際化社会と広島大学」(小宮山) を開講。  
 7・14 保健管理センターにて法人文書の選別・移管を実施。  
 7・16 企画展示撤収。  
 7・22 和歌山市出張(村上) ◇全国大学史資料協議会西日本部会  
 二〇一五年度第二回幹事会・第二回研究会に出席(於和歌山  
 大学)。  
 7・22 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」第一四回「広  
 島大学とはどういう大学か」(小池) を開講。  
 7・27 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」期末試験を  
 実施。  
 7・28 平成二七年度広島大学公文書管理研修(基礎編) を開催(法  
 人文書管理の基礎)(小池)、「文書館機能を活用した文書管理」  
 (村上)、於法人本部二F会議室、四五名受講)。  
 平成二七年度広島大学公文書管理研修(基礎編) を受講(大  
 判)(於法人本部二F会議室)。  
 7・29 文書館ミーティング。  
 8・6 オブジェ「あの日」を法人本部棟二Fロビー情報広報室内に  
 展示。同会場にて原爆忌祈念の黙祷を実施。  
 8・7 労働科学研究所から森戸文庫書籍到着。  
 教養教育科目領域科目授業「広島大学の歴史」期末試験(追  
 試験) を実施。  
 8・18 オープンキャンパス特別展「広島大学の歴史」展(於学生ブ  
 ラザ一階ロビー、一九日まで)。  
 8・24 文書館ミーティング。  
 8・26 広島大学仏教青年会一〇〇年史編纂のため寺川智祐・松田正  
 典名誉教授、永田純一入学センター准教授が来館。  
 8・27 竹原出張(石田) ◇受託研究市立竹原書院図書館古文書整理  
 事業を実施(二九日まで)。  
 9・1 大学院教育学研究科にて法人文書の選別・移管を実施。  
 9・3 文書館大掃除(前期) を実施。  
 9・9 附属三原幼稚園・小学校・中学校、大学院生物圏科学研究科

- にて法人文書の選別・移管を実施。
- 9・10 大学院工学研究科、大学院理学研究科にて法人文書の選別・移管を実施。
- 9・11 大学院先端物質科学研究科、大学院社会科学研究所にて法人文書の選別・移管を実施。
- 9・16 大学院総合科学研究科にて法人文書の選別・移管を実施。  
霞地区運営支援部にて文書整理支援を実施。
- 9・17 附属東雲小学校・中学校、東千田地区支援室にて法人文書の選別・移管を実施。  
竹原市出張(石田) ◇受託研究市立竹原書院図書館古文書整理事業を実施(一八日まで)。
- 9・24 平成二七年度広島大学情報セキュリティ研修を受講(小宮山・打田)(於情報メディア教育研究センター本館二階セミナー室一・二・三)。  
医療政策室、附属小学校・中学校・高等学校にて法人文書の選別・移管を実施。
- 9・25 広島市出張(石田) ◇林立雄関係文書の調査。
- 9・28 文書館ミーティング。  
監査室にて法人文書の選別・移管を実施。
- 9・29 大学院文学研究科、図書館にて法人文書の選別・移管を実施。
- 9・30 学長室・大学経営企画室にて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・1 学術支援グループ・研究企画室、自然科学研究支援開発センター、高等教育研究開発センター、附属学校支援グループ、附属幼稚園にて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・1 平成二七年度第一回研修会出席(於広島市地域福祉センター大会議室・広島市公文書館)。  
平成二七年度広島大学新採用教職員研修(一〇月)において「広島大学の歴史と建学の精神を考える」を講義(小池)(於法人本部四F会議室、八九名(教員三七名、職員五二名)受講)。
- 10・5 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第一回「導入と広島大学のスペシャリストとは」(文書館・小池)を開講。  
広報グループにて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・6 東京出張(小池) ◇東京学芸大学大学史資料室主催国内シンポジウム「国立大学法人における学校教育アーカイブズの課題と展望」において「国立大学における学校アーカイブズの可能性と課題―広島大学を事例として―」(小池)を講演(於東京学芸大学N四一〇教室、四五名参加)。  
情報化推進グループにて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・7 仙台市出張(小池・石田) ◇二〇一五年度全国大学史資料協議会総会・全国研究会に参加(於東北大学・東北学院、一〇日まで)

- 10・8 附属福山中学校・高等学校にて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・9 社会連携グループにて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・13 学生生活支援グループ、教養教育本部支援グループ、外国語教育研究センター、コラボレーションオフィスにて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・14 教育支援グループ、教育推進グループ、入試グループ、エクステンションセンターにて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・15 キャリア支援グループ、アクセシビリティセンターにて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・17 公開講座「我が家の近代史」第一回「我が家の歴史―資料収集から執筆までの概略―」(文書館・小池)、第二回「名前と歴史」(大学院教育学研究科・下向井龍彦)を開講。
- 10・19 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第二回「大学入試の状況変化と広島大学の対応を学ぶ」(入学センター・永田純二)を開講。
- 10・20 大学院国際協力研究科、施設企画グループ、施設計画グループ、施設管理グループにて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・23 人事グループ、服務グループにて法人文書の選別・移管を実施。
- 10・26 三次市教育委員会より施設見学のため来館(三名)。  
 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第三回「学士課程教育の改革とHINROSPECT®」(教育・国際  
 室教育推進グループ・山本恵子)を開講。  
 財務企画グループにて法人文書の選別・移管を実施。  
 10・27 霞地区運営支援部にて法人文書の選別・移管を実施。  
 10・28 病院運営支援部にて法人文書の選別・移管を実施。  
 10・29 総務グループ、文書館にて法人文書の選別・移管を実施。  
 10・30 文書館ミーティング。  
 11・2 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第四回「大学改革への取り組みとその変遷」(学長室・山下洋一)を開講。  
 11・4 サタケメモリアルホールにて法人文書の選別・移管を実施。  
 11・5 第九回ホームカミングデー特別展「広島大学の歴史展」を開催(於学生プラザロビー・一〇日まで)。  
 11・9 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第五回「大学の「人事戦略」について」(財務・総務室人事グループ・松崎和俊)を開講。  
 11・16 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第六回「IRへの取組みについて」(大学経営企画室・佐々本隆司)を開講。  
 11・19 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第七回「大学教育のユニバーサルデザイン」(アクセシビリティセンター・山本幹雄)を開講。  
 法人文書管理システムの定例打合せに出席(村上・大判)(於  
 情報化推進グループ)。



- 11・20 広島市出張(石田・村上・齋藤・平下・菊池)◇平成二七年  
度行政文書・古文書保存管理講習会を受講(於広島県立文書  
館)。
- 11・21 公開講座「我が家の近代史」第五回「公的機関での資料収集」  
(文書館・石田)、第六回「地域社会のなかで生きて」(大学  
院総合科学研究科。布川弘)を開講。
- 11・24 霞地区運営支援部にて文書整理支援を実施。  
広島市出張(小池・村上)◇資料寄贈者三澤草子氏との打合  
せ。
- 11・27 博士課程前期専門的教育科目「文書企画管理演習」第一回「ガ  
イダンスーアーカイヴの意味」(文書館・小宮山)を開講。  
文書館ミーティング。
- 11・30 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第  
八回「大学の社会連携の必要性和実際」(地域連携センター・  
塚本俊明)を開講。
- 12・1 山代巴関係文書(追加)受贈。
- 12・4 博士課程前期専門的教育科目「文書企画管理演習」第二回「文  
書企画管理論一」(文書館・石田)を開講。
- 12・5 第一回広島大学文書館研究会「個人文書の収集・整理・公  
開に関する諸課題」を開催(於大学院文学研究科B一五三、  
三七名参加)。
- 12・7 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第  
六回「広島大学の国際戦略」(教育・国際室 国際交流グルー  
プ・石野隆志)を開講。
- 12・11 博士課程前期専門的教育科目「文書企画管理演習」第三回「文  
書企画管理論二」(文書館・小池)を開講。
- 12・14 教養教育科目領域科目授業「広島大学のスペシャリスト」第  
一〇回「図書館・学習と研究を支援する」(図書館 学術情報  
普及グループ・上田大輔)を開講。
- 12・15 三次市出張(小池・村上)◇三次市教育委員会との打合せ実  
施。  
大阪出張(石田)◇全国大学史資料協議会西日本部会  
二〇一五年度第四回幹事会・第四回研究会に参加(於高島屋  
史料館)。
- 12・17 平成二七年度個人情報管理状況・法人文書管理状況監査に係  
る打合せ実施(総務グループ山先主査・村上)(於総務グル  
ープ)。  
広島大学研究倫理教育講習会を受講(小池・小宮山)(於大  
学院総合科学研究科L一〇二教室)。
- 12・18 博士課程前期専門的教育科目「文書企画管理演習」第四回「文  
書作成の基本」(文書館・石田)を開講。  
広島大学研究倫理教育講習会を受講(村上)(於大学院総合  
科学研究科L一〇二教室)。
- 12・19 公開講座「我が家の近代史」第五回「近世史料で見る「我が  
家の近代」(大学院文学研究科・中山富広)、第六回「我が家  
と近代教育とのかかわりー学校関係資料の搜索と使用法ー」

(文書館・小宮山) を開講。

12・21 教養教育科目総合科目授業「広島大学のスペシャリスト」第

一回「文書館く建学の精神を守る情報公開機関く」(文書

館・小宮山) を開講。

12・24 教養教育科目総合科目授業「広島大学のスペシャリスト」第

二回「学芸員の仕事と大学博物館」(総合博物館・佐藤大規

を開講。

文書館ミーティング。

12・25 国際交流グループにて法人文書の選別・移管を実施。

12・28 仕事納め。

### 受贈刊行物一覧

(二〇一五年一月～二月)

(寄贈機関名◆刊行物名/刊行年月)

#### 国立大学

北海道大学大学文書館◆北海道大学大学文書館年報 第一〇号/

二〇一五年三月

東北大学史料館◆東北大学史料館だより 第二二号/二〇一五年三月

◆東北大学史料館紀要 第一〇号/二〇一五年三月◆東北大学史料

館だより 第二三号/二〇一五年九月◆東北大学史料館×東北学院

史資料センター連携企画「学徒仙台と戦争」 東北大学史料館企画

展「東北大生の戦争体験」[ポスター]/二〇一五年一〇月

東京大学(大学史料室・文書館)◆東京大学史紀要 第三三号/

二〇一五年三月◆東京大学文書館ニュース 第五三～五五号/

二〇一五年三～九月

東京学芸大学大学史資料室◆東京学芸大学 大学史資料室報 Vol.二/

二〇一五年三月◆東京学芸大学大学史資料室主催国内シンポジウム

「国立大学法人における学校教育アーカイブズの課題と展望」[ポス

ター]「チラシ」/「二〇一五年九月」

お茶の水女子大学歴史資料館◆創立百四十周年記念特別展「パンフ

レット」/二〇一四年二月◆「お茶の水女子大学創立一四〇周年記

念事業・式典」[パンフレット]「チラシ」/「二〇一五年一〇月」



金沢大学資料館◆金沢大学資料館「案内リーフレット」◆金沢大学資料館紀要 第九号／二〇一四年三月◆金沢大学資料館だより 第四四〇四八号／二〇一四年五月〜二〇一五年九月◆平成二十六年

度金沢大学資料館特別展「超然〜第四高等学校の校風と学生たち」

「パンフレット」／二〇一四年一〇月◆平成二六年度金沢大学資料館

特別展「超然〜第四高等学校の校風と学生たち」

「図録」／二〇一四年一〇月◆金沢大学資料館紀要 第一〇号／二〇一五年三

月◆資料館×埋蔵文化財調査センター 平成二七年度特別展「加賀藩与力 武士のほまれ」

「図録」／二〇一五年一〇月  
名古屋大学 大学文書資料室◆名古屋大学大学文書資料室紀要 第

二十三号／二〇一五年三月◆名古屋大学大学文書資料室ニュース

第三二号／二〇一五年三月

豊橋技術科学大学◆豊橋技術科学大学広報誌 天伯 No.139〜140

／二〇一五年三〜八月◆豊橋技術科学大学 大学概要二〇一五

二〇一六／「二〇一五年」◆Creative Campus for Nurturing Global Technology Architects 「グローバル技術科学アーキテクト」養成

キャンパスの創成「パンフレット」／「二〇一五年三月」◆国立大学

法人 豊橋技術科学大学「グローバル技術科学アーキテクト」養成

キャンパスの創成〜多文化共生・グローバルキャンパスの実現

「DVD」／「二〇一五年」  
滋賀大学経済学部附属史料館◆滋賀大学経済学部附属史料館 研究紀

要 第四十八号／二〇一五年三月◆史料館概要／二〇一五年三月◆史料館新営二十周年記念特別展「重要文化財 菅浦文書を読み解く」

「ポスター」「チラシ」／「二〇一五年九月」

京都大学（大学文書館・高等教育研究開発センター）◆京都大学大学

文書館研究紀要 第一三三号／二〇一五年三月◆京都大学大学文書館

だより 第二八号／二〇一五年四月◆京都大学大学文書館企画展

「『あ的一年』の京都大学―大学文書館所蔵資料でみる一九四五年―」

「チラシ」／「二〇一五年七月」◆京都大学大学文書館だより 第二九

号／二〇一五年一〇月◆京都大学大学文書館企画展「京都帝国大学

文学部の軌跡―教養と国策のはざままで―」

「チラシ」／「二〇一五年一〇月」◆京都大学附置研究所・センターシンポジウム 京都大学

広島講演会「二世紀の日本を考える（第一〇回）京都からの提言」

「ポスター」「チラシ」／「二〇一五年一〇月」  
大阪大学アーカイブズ◆大阪大学アーカイブズニューズレター 第五

号／二〇一五年三月◆畑田耕一名誉教授に聞く―大阪大学の思い出

を中心―（一）『大阪大学経済学 第六四巻 第一号 二〇一四年

六月号』抜刷』／「二〇一五年四月」◆畑田耕一名誉教授に聞く―大

阪大学の思い出を中心―（二）『大阪大学経済学 第六四巻 第

二号 二〇一四年九月号』抜刷』／「二〇一五年四月」◆新開陽一名

誉教授に聞く―大阪大学の思い出―『大阪大学経済学 第六四巻

第三号 二〇一四年二月号』抜刷』／「二〇一五年四月」◆中村宣

一朗名誉教授に聞く―大阪大学の思い出―『大阪大学経済学 第

六四巻 第四号 二〇一五年三月号』抜刷』／「二〇一五年四月」

神戸大学附属図書館大学文書史料室◆平成二七年度神戸大学史・特別

「二〇一五年一〇月」◆「神戸大学サテライト巡回展二〇一五」[ポスター]「チラシ」/「二〇一五年一〇月」

九州大学文書館◆九州大学文書館ニュース 第三八号/

二〇一四年一二月◆九州大学史料叢書 第二二輯/二〇一五年三月

九州工業大学附属図書館情報工学部分館◆九州工業大学大学院情報工

学研究紀要 第二八号/二〇一五年三月

佐賀大学◆佐賀大学の物語/二〇一四年九月

金沢美術工芸大学◆金沢美術工芸大学 紀要 第五九号/二〇一五年三月◆公立大学法人金沢美術工芸大学 自己点検・評価報告書/

二〇一五年六月

京都府立大学附属図書館◆京都府立大学学術報告人文 第六六号/

二〇一四年一二月◆京都府立大学学術報告 公共政策 第六号/

二〇一四年一二月

大阪市立大学史資料室◆大阪市立大学史紀要 第八号/二〇一五年一〇月◆大学史資料室ニュース 第一九号/二〇一五年三月◆恒

藤記念室叢書五/二〇一五年三月◆第七回 恒藤恭シンポジウム

「今、あらためて滝川事件を考えるー非常時下大学の抵抗と苦悩ー」

「チラシ」/「二〇一五年一〇月」

広島市立大学広島平和研究所◆広島平和研究 第二号/二〇一五年三月

月

下関市立大学◆下関市立大学論集 第五七巻 第三号/二〇一四年一

月◆下関市立大学論集 第五八巻 第一〜三号/二〇一四年五月〜

二〇一五年一月◆下関市立大学論集 第五九巻 第一号/二〇一五年五月

私立大学

東北学院◆学校法人東北学院 東北学院史資料センター 二〇一五年

度公開シンポジウム「日本国憲法と鈴木義男」[ポスター]「チラシ」

/二〇一五年一〇月

獨協学園資料センター◆獨協学園資料センター研究年報 第七号/

二〇一五年三月

淑徳大学アーカイブズ◆淑徳大学アーカイブズ・ニュース 第一〇〜

一号/二〇一五年一〜九月◆淑徳大学創立五〇周年・学祖 長谷川

良信先生五〇回忌記念「淑徳大学五〇年のあゆみ展」「チラシ」/

「二〇一五年七月」

麗澤大学「麗澤スタディーズ」授業運営グループ◆年報 麗澤スタ

ディーズ二〇一四/二〇一五年二月

神奈川大学資料編纂室◆神奈川大学史資料集 第三十一集 神奈

川大学会議録(十六)/二〇一五年三月

関東学院学院史資料室◆関東学院学院史資料室ニュース・レター 第

一八号/二〇一五年三月

東海大学学園史資料センター◆東海大学学園史ニュース No.九〜一〇

/二〇一四年一二月〜二〇一五年一二月◆東海大学七十五年史編纂

だより 第一〜二号/二〇一四年七月〜二〇一五年七月◆

東洋英和女学院史料室◆史料室だより No.八三〜八五/二〇一四年

一月～二〇一五年一月◆東洋英和女学院史料室利用案内「リフレット」／「二〇一五年」

学習院アーカイブズ◆GCAS Report 学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻研究年報 第四号／二〇一五年二月◆学習院アーカイブズ・ニューズレター 第五～六号／二〇一五年二月～二〇一五年七月◆記録を守り、記憶を伝える 学習院大学大学院アーカイブズ学専攻「案内リーフレット」／二〇一四年一〇月◆記録を守り、記憶を伝える 学習院大学大学院アーカイブズ学専攻「案内リーフレット」／二〇一四年一〇月◆学習院大学大学院アーカイブズ学専攻 平成二十七年入試説明会「チラシ」／「二〇一五年七月」

慶應義塾福澤研究センター◆近代日本研究 第三二巻（二〇一四年度）／二〇一五年二月◆慶應義塾福澤研究センター通信 第二二号／二〇一五年三月◆慶應義塾福澤研究センター通信 第二一号／二〇一五年三月◆慶應義塾福澤研究センター講演会「日韓のはざまで」「チラシ」／「二〇一四年二月」

國學院大學（研究開発推進機構・校史資料課）◆國學院大學研究開発推進機構ニュース Vol.八 No.二／二〇一五年二月◆國學院大學研究開発推進機構紀要 第七号／二〇一五年三月◆國學院大學研究開発推進機構ニュース Vol.九 No.一／二〇一五年六月◆國學院大學 校史・学術資産研究 第七号／二〇一五年三月

国際基督教大学歴史資料室◆献学60周年記念事業・歴史資料室特別展「ディッフェンドルファーとトロイヤの軌跡―新しい大学の建設―」

「チラシ」／「二〇一五年九月」

国士館史資料室◆国士館史研究年報 楓原 二〇一四 第六号／二〇一五年三月◆国士館百年史 史料編 上・下／二〇一五年三月 駒澤大学禅文化歴史博物館◆企画展「東臯心越と水戸光圀～黄門様が招いた異国の禅僧～」【ポスター】「チラシ」／「二〇一五年九月」  
女子美術大学歴史資料室◆ТЕХНИКА (女子美術大学歴史資料室ニューズレター) 第八号／二〇一四年一月◆横井玉子・藤田文蔵と私立女子美術学校創立展図録／「二〇一四年四月」

成城学園教育研究所◆成城学園百年史紀要 創刊号／二〇一五年三月  
創価大学創価教育研究所◆創価教育 第八号／二〇一五年三月  
大東文化歴史資料館◆大東文化歴史資料館だより 第一七～一九号／二〇一四年一月～二〇一五年一月◆大東文化大学二〇一五カレンジャー～大学駅伝と大東文化大学栄光の軌跡／「二〇一四年二月」  
◆大東文化大学二〇一六カレンジャー～全国大学ラグビーフットボール選手権大会 初優勝から三〇周年 大東文化大学 栄光の記憶／「二〇一五年二月」

専修大学大学史資料課◆専修大学史紀要 第七号／二〇一五年三月  
拓殖大学創立百年史編纂室◆拓殖大学百年史 資料編 八／二〇一五年三月◆拓殖大学百年史 終戦七十年記念出版 やがてまた別れ告ぐべき君なれば 戦争と学徒／二〇一五年七月  
多摩美術大学大学史編纂室◆多摩美術大学の八〇年 年表一九三五～二〇一五／二〇一五年一月

中央大学（大学史編纂課・広報室大学史資料課）◆中央大学史紀要

- 第一九号／二〇一五年一月◆中央大学史料集 第二十七集(『法学新報』所載 中央大学関係記事十一)／二〇一五年三月◆戦争と中央大学プロジェクト 戦後七〇年講演会「戦中・戦後の中央大学」／二〇一五年一〇月◆戦争と中央大学プロジェクト 展示 戦後七〇年―あらためて戦争と中央大学を考える―「図録」／二〇一五年一〇月
- 津田塾大学 津田梅子資料室◆津田梅子資料室企画展「太平洋戦争と津田塾」〔チラシ〕／二〇一五年一〇月
- 東京経済大学史料室◆大倉喜八郎かく語りき―進一層、責任と信用の大切さを―／二〇一四年一〇月
- 額田記念東邦大学資料室(法人本部経営企画部)◆額田豊・晉の生涯 東邦大学のルーツをたどる／二〇一五年六月◆東邦大学創立九〇周年記念展示「額田豊・晉の生涯 東邦大学のルーツをたどる」〔パンフレット〕〔チラシ〕／二〇一五年六月
- 日本大学広報部大学史編纂課◆日本大学大学史編纂課日より 第八号／二〇一五年三月〜九月◆大学史論輯 叢誌 第九一〇号／二〇一五年三月
- 日本女子大学成瀬記念館◆成瀬記念館 二〇一五 No.三〇／二〇一五年七月
- 法政大学(大学史委員会・大学史編纂室)◆法政大学史料集 第三六集／二〇一五年三月◆JR市ヶ谷駅開業一二〇周年記念「市ヶ谷と法政大学―法政大学史センター所蔵卒業アルバムを中心に―」／二〇一五年三月◆法政大学学徒出陣調査中間報告会「戦後七〇年
- 法政大学と出陣学徒―記憶と記録」〔ポスター〕〔チラシ〕／二〇一五年一〇月◆法政大学清国留学生法政速成科設置一一〇周年記念パネル展「ポスター」
- 武蔵学園記念室◆武蔵学園史年報 第十九号／二〇一五年四月
- 明治大学史資料センター◆大学史紀要 第二九号 阿久悠研究／二〇一四年二月◆大学史資料センター報告 第三六集 大学史活動／二〇一五年三月◆大学史紀要 第二〇号 明治大学アジア留学研究Ⅱ／二〇一五年三月◆ニュースレター 明治大学史 Vol.二二／二〇一五年一月
- 明治学院歴史資料館◆明治学院歴史資料館ニュースレター No.六／二〇一五年七月
- 明星大学◆五十年の歴史―創立五十周年記念誌 第一分冊―／二〇一四年一〇月◆五十年の歴史―創立五十周年記念誌 第二分冊―／二〇一四年一〇月◆五十年の歴史―創立五十周年記念誌 第三分冊―／二〇一五年五月
- 立教学院(史資料センター・展示館)◆立教学院史研究 第二二号／二〇一五年二月◆立教学院展示館 NEWSLETTER The Heritage and Future of Rikkyo No.1／二〇一四年十二月◆詩人尹東柱 没後七〇年 遺稿・遺品巡回展示会「詩人尹東柱二七年の生涯」〔チラシ〕／二〇一五年一月◆富安敬二教授退職記念「富安敬二作品展―具象から抽象へ、そしてまた回帰としての現在―」〔チラシ〕／二〇一五年三月◆立教学院展示館 第一回企画展「戦時下、立教の日々―変わりゆく「自由の学府」の中で―」〔ポスター〕〔チラシ〕

／「二〇一五年七月」◆「池袋」自由文化都市プロジェクト」第一回  
企画展再開催「戦後池袋」ヤミ市から自由文化都市へ」〔パンフ  
レット〕／「二〇一五年八月」◆立教学院展示館 第一回企画展「戦  
時下、立教の日々」変わりゆく「自由の学府」の中で」〔図録〕／  
二〇一五年一〇月

立正大学史料編纂室◆立正大学史料編纂室の葉 第一号／二〇一五年  
一月◆第二回 立正大学史料編纂室主催講習会「大学史づくりの経  
験から」〔チラシ〕／「二〇一五年三月」

早稲田大学大学史資料センター◆二〇一五年度春季企画展「学徒たち  
の戦場」戦後七〇年」〔ポスター〕〔チラシ〕／「二〇一五年三月」  
◆大学史資料センター 新収資料展「早稲田の資料とその時代」〔ポ  
スター〕〔チラシ〕／「二〇一五年六月」◆二〇一五年度秋季企画展「大  
隈重信展」早稲田から世界へ」〔ポスター〕〔チラシ〕／「二〇一五  
年九月」

愛知大学東亜同文書院大学記念センター◆同文書院記念報 Vol.二三／  
二〇一五年三月◆愛知大学公館一〇〇年物語「旧陸軍第一五師団長  
官舎から「知のサロン」へ」〔パンフレット〕／「二〇一五年三月」◆  
「東亜同文書院大学から愛知大学へ」松本展示会・講演会」〔パン  
フレット〕〔ポスター〕／「二〇一五年八月」

中京大学社会科学研究所◆社会科学学研究 第三五巻第一・二号合併号  
(通巻第六五号)／二〇一五年三月◆文化の継承と現代テクノロジー  
の展開ー技術アーカイブズの伝統と現在ー 社研叢書三六／  
二〇一五年三月◆転換期の台湾史研究 社研叢書三七／二〇一五年

三月◆中京大学社会科学研究所学術講演会「イタリアのアーカイブ  
ズと文書保護局」〔パンフレット〕〔ポスター〕／「二〇一五年八月」  
南山学園史料室アーカイブズ◆南山アーカイブズニュース 第七号／

二〇一四年一月◆南山学園史料集一〇 ヒルシュマイヤー著作集  
教育論／二〇一五年三月◆アルケイアー記録・情報・歴史ー 第九  
号／二〇一五年三月◆「南山アーカイブズ常設展示室オープン」〔紹  
介ポスター〕〔紹介チラシ〕／「二〇一五年一〇月」◆南山アーカイブ  
ズ常設展示室オープン記念シンポジウム「展示を利用した自校史教  
育の可能性」〔ポスター〕〔チラシ〕／「二〇一五年一〇月」◆学校法  
人南山学園 南山アーカイブズ〔案内リーフレット〕／二〇一五年  
一月◆学校法人南山学園 南山アーカイブズ常設展示図録／  
二〇一五年一月

皇學館(館史編纂室・皇學館大学研究開発推進センター)◆「皇學館大  
學百三十年史」(全五冊) 正誤並人名索引／二〇一五年八月◆皇學  
館大學百三十年史 年表篇 写真篇／二〇一四年二月◆皇學館大  
学研究開発推進センター紀要 第一号／二〇一五年三月◆皇學館大  
学研究開発推進センター「案内リーフレット」／「二〇一五年四月」  
大谷大学真宗総合研究所◆研究所報 第六五号／二〇一四年一月◆  
大谷大学真宗総合研究所紀要 第三二号 二〇一三(平成二五)年  
度研究報告／二〇一五年三月◆研究所報 第六六号／二〇一五年七  
月

京都産業大学◆サギタリウス Vol.六六〜七〇／二〇一四年二月〜  
二〇一五年二月◆学校法人京都産業大学五〇年のあゆみ 一九六五



一〇一五／二〇一五年一月

同志社大学(同志社社史資料センター)◆新島研究 第一〇六号／

二〇一五年二月◆同志社談叢 第三五号／二〇一五年三月◆ハリス

理化学館同志社ギャラリー第六回企画展「はじまりの地ーラットラ

ンドから寺町丸太町、今出川へー」[ポスター]「チラシ」／[二〇一五

年四月]◆ハリス理化学館同志社ギャラリー第八回企画展「ハワイ

に高知城をたてた男 奥村多喜衛ー同志社・ハワイ交流前史」[ポス

ター]「チラシ」／[二〇一五年一月]

佛敎大学◆佛敎大学広報誌 B.F. 誌 No.九一／二〇一四年二月

二〇一五年二月◆佛敎大学 総合案内二〇一五／二〇一五年七月

◆紫野 Vol.九二／二〇一六年一月

立命館◆立命館百年史資料編三「DVD」／[二〇一五年二月]

追手門学院大学◆追手門学院大学創立五〇周年記念講演会(第三回)

「自校教育の展開」講演録／二〇一五年三月

大阪女学院教育研究センター◆大阪女学院教育センターNews

Letter 第七〜九号／二〇一五年五月〜二月

関西大学(年史編纂室・年史資料展示室)◆関西大学年史紀要第

二十四号／二〇一五年三月◆平成二七年度関西大学年史資料展示室

企画展「さようなら天六学舎ー八五年の歴史展ー」[パンフレット]

「ポスター」「チラシ」／[二〇一五年四月]◆平成二七年度関西大学

年史資料展示室企画展「一〇〇年の軌跡 新時代の幕開けー関西大

学野球部一〇〇年」[パンフレット]「ポスター」／[二〇一五年一〇

月]

近畿大学建学史料室◆A Way of Life - Seko Koichi - 世耕弘一先

生建学史料室広報 一九〜二〇号／[二〇一五年三月〜一〇月]

桃山学院史料室◆桃山学院年史紀要 第三四号／二〇一五年三月◆

「桃山学院史料室の一〇周年」展「チラシ」／[二〇一五年三月]◆「甦

る大正浪漫 オルガンコンサート」[チラシ]／[二〇一五年三月]◆

和泉市いずみの国歴史館 平成二七年度春季特別展「和泉中央と桃

山学院大学の二〇年 一九九五ー二〇一五」[チラシ]／[二〇一五

年三月]◆桃山学院の歴史二〇一五「歴史パンフレット」／二〇一五

年四月◆第二次世界大戦終結七〇年・日露戦争終結一〇〇年記念企

画展・講演会「戦争が残したのもたらしたもの」[チラシ]／

[二〇一五年六月]

関西学院(学院史編纂室・大学博物館)◆関西学院史紀要 第二一号

／二〇一五年三月◆Gift for the Future 未来に贈る 一一五年／

二〇一四年九月

神戸国際大学(学術研究会・経済文化研究所)◆神戸国際大学経済経

営論集 第三四卷 第二号／二〇一四年二月◆神戸国際大学紀要

第八七号／二〇一四年二月◆神戸国際大学経済経営論集 第三五

卷 第一号／二〇一五年六月◆神戸国際大学紀要 第八八号／

二〇一五年六月◆経済文化研究所年報第二四号／二〇一五年四月

神戸女学院史料室◆学報 No.一七二〜一七五／二〇一四年二月

二〇一五年二月◆学院史料 Vol.二八／二〇一五年三月◆神戸女学

院 Calendar 2016／[二〇一五年二月]

高野山大学(図書館)◆Archives for Maintaining Community and



Society in the Digital Age / 二〇一三年六月 ◆高野山大学図書館蔵

善本撰輯 / 二〇一三年二月

エリザベト音楽大学 ◆エリザベト音楽大学研究紀要 XX XV /

二〇一五年三月

広島文教女子大学 (高等教育研究センター) ◆広島文教女子大学紀要

第四九〜五〇巻 / 二〇一四年二月〜二〇一五年二月 ◆広島文教

女子大学高等教育研究 創刊号 / 二〇一五年三月

安田学園 ◆安田リヨウ 生誕一三〇周年記念展記録 / 二〇一五年五月

西南学院 (大学博物館) ◆西南学院史紀要 二〇一五・五 Vol. 一〇 /

二〇一五年五月 ◆大学博物館二〇一五年度春季特別展大学博物館共

同企画 V [Nexus 展] [図録] / 二〇一五年六月 ◆二〇一五年度秋

季特別展「南蛮ーNAMBANー昇華した芸術」[パンフレット] [ポ

スター] / [二〇一五年一〇月] ◆二〇一五年度秋季特別展「南蛮ー

NAMBANー昇華した芸術」[図録] 二〇一五年一月 ◆西南学院

大学博物館年報 第七号 / 二〇一五年一〇月 ◆西南学院大学博物館

ニュース Volume 二二〜二四 / 二〇一五年六月〜九月

## 行政

北海道立文書館 ◆赤れんが No. 五〇 / 二〇一五年三月 ◆北海道立文書

館調査研究事業報告書 第三号 / 二〇一五年三月

札幌市総務局行政部公文書館 ◆札幌市公文書館年報 平成二六年度

第二号 / 二〇一五年六月

青森県文化観光部 ◆青森県史 資料編 近世六 / 二〇一五年三月 ◆青

森県史 文化財編 建築 / 二〇一五年九月

福島県歴史資料館 ◆福島県史料情報 第四一号 / 二〇一五年二月 ◆福

島県歴史資料館収蔵資料目録 第四六集 県内諸家寄託文書(四〇)

/ 二〇一五年三月 ◆福島県史料情報 第四二号 / 二〇一五年六月 ◆

ふくしまDC協賛展示 平成二七年度福島県歴史資料館収蔵資料展

「花と温泉ーかおりと湯けむりの記憶ー」[パンフレット] /

[二〇一五年六月] ◆福島県史料情報 第四三号 / 二〇一五年一〇月

栃木県立文書館 ◆栃木県立文書館 研究紀要 第一九号 / 二〇一五年

三月 ◆栃木県史料所在目録 第四四集 小宅雄次郎家文書 青木益治

家文書 (株) 屏風岩 (渡邊久子家) 文書 [CD-ROM] / [二〇一五

年三月] ◆栃木県立文書館 第二六回企画展「文書とともに生きる

下野の人々ー村における文書の管理・保存・引継ぎー」[図録] /

二〇一五年一月

埼玉県立文書館 ◆文書館紀要 第二八号 / 二〇一五年三月 ◆埼玉県立

文書館収蔵文書目録第五四集 諸家文書目録Ⅷ / 二〇一五年三月

国立公文書館 (業務課) ◆北の丸ー国立公文書館報ー第四十七号 /

二〇一五年一月 ◆国立公文書館所蔵資料展「近代日本と徳島のお

ゆみ」[ポスター] [チラシ] / [二〇一五年二月] ◆「JFKーその生

涯と遺産ー展」[チラシ] / [二〇一五年二月] ◆アーカイブズ第

五五号 / 二〇一五年二月 ◆国立公文書館ニュース 創刊号 / 四号 /

二〇一五年三月〜二月 ◆平成二六年度 アーカイブズ研修Ⅲ修了

研究論文集 / [二〇一五年七月] ◆国際公文書館会議東アジア地域支

部 (EASTICA) 第一二回総会及びセミナー「デジタル時代のアー

カイブ再び」〔チラシ〕／「二〇一五年七月」◆平成二七年秋の特別展  
「災害に学ぶー明治から現代へー」〔ポスター〕〔チラシ〕／「二〇一五年八月」

**宮内庁書陵部（図書課宮内公文書館）◆昭和天皇実録 第一～四／**

二〇一五年三月～九月◆書陵部紀要 第六十六号／二〇一五年三月

◆書陵部紀要「陵墓篇」 第六十六号／二〇一五年三月◆千葉県文

書館・宮内庁宮内公文書館共催展「皇室がふれた千葉×千葉がふれ

た皇室」〔ポスター〕〔チラシ〕／「二〇一五年八月」◆千葉県文書館・

宮内庁宮内公文書館共催展解説図録 皇室がふれた千葉×千葉がふ

れた皇室／二〇一五年九月

**外務省外交史料館◆外交史料館 特別展示「マッサン展」〔チラシ〕／**

「二〇一四年八月」◆外交史料館報 第二十八号／二〇一四年一二月

**国文学研究資料館（調査収集事業部・古典籍共同研究センター事務**

室）◆国文研ニューズ No.三八～No.四一／二〇一五年一月～一〇

月◆ふみ 古典籍共同研究事業センターニューズ 第二～四号／

二〇一四年一月～二〇一五年六月◆国際シンポジウム「日本研究

の新天地 歴史的典籍画像の三〇万点 Web公開と国際共同研究」

「チラシ」／「二〇一四年一月」◆平成二七年度アーカイブズ・カ

レッジ史料管理学会「参加申込書付パンフレット」／「二〇一五

年三月」◆国文学研究資料館 通常展示「書物で見る 日本古典文学

史」〔チラシ〕／「二〇一五年三月」◆特別展示「韓国古版画博物館名

品展」〔チラシ〕／「二〇一五年八月」◆平成二七年度 国文学研究資

料館「『古典の日』講演会」〔チラシ〕／「二〇一五年八月」◆国立大

学法人 総合研究大学院大学 文化科学研究科「学术交流フォーラ

ム二〇一五 文学際」「文化科学」を発見する」〔チラシ〕／「二〇一五

年一〇月」◆公開シンポジウム「第一回 日本漢文学総合討論」〔チ

ラシ〕／「二〇一五年二月」◆史料目録 第一〇〇集 尾張国名古屋

元材木町犬山屋神戸家文書目録（その五・完）／二〇一五年三月◆

史料目録 第一〇一集 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録

（その八）／二〇一五年三月◆大規模学術フロンティア促進事業「日

本語の歴史的典籍の国際共同研究ネットワーク構築計画」第一回

日本語の歴史的典籍国際研究会「可能性としての日本古典籍」〔チ

ラシ〕／「二〇一五年六月」◆公開シンポジウム「日本語の歴史的典

籍データベースが切り拓く研究の未来」〔チラシ〕／「二〇一五年六

月」◆

しょうけい館◆春の企画展「一刻も早く！ー戦場からの患者搬送ー」

〔チラシ〕／「二〇一五年二月」◆企画展「武良茂（水木しげる）の人

生」〔チラシ〕／「二〇一五年二月」

**国立文化財機構◆歴史資料ネットワーク設立二〇周年記念「全国史料**

ネットワーク交流集会」〔ポスター〕〔チラシ〕／「二〇一五年一月」

**横浜開港資料館◆横浜開港資料館館報 開港のひろば 第一二七号**

一三〇号／二〇一五年一月～九月◆平成二六年度第四回企画展示

「ガールズビー アンビシヤス！ 横浜山手のミッション・スター

ル」〔ポスター〕〔チラシ〕／「二〇一五年一月」◆「水曜の夜は博物館

へー」〔チラシ〕／「二〇一五年四月」◆平成二七年度第一回企画展示

「異国の面影」〔ポスター〕〔チラシ〕／「二〇一五年四月」◆企画展「ハ

マを駆けるークルマが広げた人の交流ー明治・大正編」〔パンフレット〕／「二〇一五年七月」◆平成二七年度第二回企画展示「その音、奇妙なりー横浜・西洋音楽との出会い」〔ポスター〕「チラシ」／「二〇一五年九月」

横浜市史資料室◆市史通信 第二一号～二四号／二〇一四年一月～二〇一五年二月◆横浜市史資料室紀要 第五号／二〇一五年三月◆報告書 震災復興と大横浜の時代／二〇一五年三月◆「戦後七〇年戦争を知る、伝えるー横浜の戦争と戦後」〔チラシ〕／二〇一五年七月

藤沢市文書館◆藤沢市史研究 第四八号／二〇一五年三月◆藤沢市史ブックレット六 大庭御厨に生きる人々／二〇一五年三月

福井県文書館◆文書館だより 第二二号／二〇一四年一月◆福井県文書館年報 第一一号 平成二五年度／二〇一四年七月◆福井県文書館研究紀要 第一二号／二〇一五年二月◆福井藩士履歴 三ヶ／そ 福井県文書館資料叢書一／二〇一五年二月◆福井県文書館年報 第一二号 平成二六年度／二〇一五年七月◆文書館だより 第二三号／二〇一五年一月

松本市文書館◆松本市史研究 第二五号ー松本市文書館紀要ー／二〇一五年三月

愛知県公文書館◆愛知県公文書館だより 第十九号／二〇一五年一月◆愛知県公文書館企画展「明治期愛知の広告と博覧会」〔ポスター〕「チラシ」／「二〇一五年九月」

京都府立総合資料館◆資料館紀要 第四三号／二〇一五年三月

和歌山県立文書館◆古文書徹底解釈 紀州の歴史 第二集／二〇一五年三月◆和歌山県立文書館だより 第四一～四四号／二〇一四年一月～二〇一五年一月

島根県立古代出雲歴史博物館◆島根・広島交流事業 特集展「尾道松江線発掘物語ー中国横断自動車道尾道松江線発掘調査の成果ー」〔ポスター〕「チラシ」／「二〇一四年二月」

岡山県立記録資料館◆岡山県記録資料叢書一〇 岡山県明治前期資料一（九・十年）／二〇一五年三月◆岡山県立記録資料館紀要 第一〇号／二〇一五年三月◆岡山のアーカイブズ四〇記録資料館活動成果資料集／二〇一五年三月

広島県立文書館◆広島県立文書館だより No.三九／二〇一五年三月◆広島県立歴史民俗資料館◆年報 第三一号ー平成二三・二四年度ー／二〇一四年六月◆開館三五周年記念 平成二六年度秋の展示会「かぐわしき日本の香りー香の歴史と美ー」〔チラシ〕／「二〇一四年九月」◆開館三五周年記念 平成二六年度新春の展示会「広島県の災害と防災」〔チラシ〕／「二〇一四年二月」◆みよし風土記の丘ミュージアム「春を待つ三次人形とひな人形」〔チラシ〕／「二〇一四年二月」

◆広島県立歴史民俗資料館・広島県立みよし風土記の丘 平成二七年度年間行事案内「リーフレット」／「二〇一五年三月」◆島根・広島交流事業 特集展「尾道松江線発掘物語ー中国横断自動車道尾道松江線発掘調査の成果ー」〔チラシ〕／「二〇一五年三月」◆平成二七年度夏の特別企画展「海洋堂フィギュア展ーたのしい、おまけ」の世界ー」〔ポスター〕「チラシ」／「二〇一五年六月」◆平成二七年度

- 秋の特別企画巡回展・「平成の大修理」完成記念「尾道・浄土寺の寺寶展―瀬戸内の精華―」【ポスター】「チラシ」／「二〇一五年九月」
- 広島市公文書館**◆広島市公文書館紀要 第二十八号／二〇一五年六月
- ◆被爆七〇周年記念事業「映画「平和記念都市ひろしま」上映会」【ポスター】「チラシ」／「二〇一五年七月」
- 広島市立中央図書館**◆広島市 図書館だより No.三二四～三二八／二〇一五年一月～一〇月
- 福山市 (市長公室長 (秘書課)・秘書広報課 市史編さん室)**◆福山市 史 近世資料編Ⅲ 教育・文化／二〇一五年三月◆福山市史 近世資料編Ⅲ 教育・文化「チラシ」／「二〇一五年三月」◆アーカイブスふくやま 第六号／二〇一五年三月
- ふくやま文学館**◆ふくやま文学館所蔵資料シリーズ『福山の文学』第十六集 新編 木下夕爾詩集／二〇一四年二月◆被爆七〇年 文芸に描かれた八月六日／二〇一五年八月
- 呉市 (海事歴史科学館)**◆豊浜町史編さん委員会・呉市史編さん委員会『豊浜町史 通史編』／二〇一五年三月◆呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム) 研究紀要 第九号／二〇一五年三月◆終戦七〇年記念特別企画展「日米最後の戦艦展 戦艦大和とミズーリ」【ポスター】「チラシ」／「二〇一五年五月」
- 山口県文書館**◆山口県文書館研究紀要 第四二号／二〇一五年三月◆文書館ニュース No.四九／二〇一五年三月◆第一〇回中国四国地区アーカイブズウィーク―書庫に棲む動物たち―「パンフレット」【ポスター】／「二〇一五年四月」
- 山口市総合政策部文化政策課市史編さん室**◆山口市史「史料編」編さん講演会一三「毛利隆元室 尾崎局の生涯」【ポスター】「チラシ」／「二〇一五年九月」
- 徳島県立文書館**◆文書館だより 第三六号／二〇一五年三月◆「戦後七〇年 時を貫くアーカイブ」【年間行事案内】「チラシ」【ポスター】／「二〇一五年三月」◆第五一回企画展「写真資料に見る学者の面影」【パンフレット】／二〇一五年四月◆第五一回企画展「写真資料に見る学者の面影」【ポスター】／「二〇一五年三月」◆文化の森開園二五周年事業 特別企画展「終戦七〇周年記念 民衆が見た戦争」【パンフレット】／二〇一五年八月◆徳島県立文書館年報 第一八号／二〇一五年八月◆第五二回企画展 文化の森開園二五周年記念事業「ヒトガタをめぐる冒険」【描かれた阿波の人物】「パンフレット」／二〇一五年一〇月◆第五二回企画展 文化の森開園二五周年記念事業「ヒトガタをめぐる冒険」【描かれた阿波の人物】【ポスター】／「二〇一五年一〇月」
- 香川県立文書館**◆香川県立文書館紀要 第一九号 (開館二〇周年記念号)／二〇一五年三月◆香川県立文書館史料集三 丸亀京極家御連枝日記／二〇一五年三月◆香川県立文書館収蔵文書目録 第一七集 讃岐国那珂郡今津村 横井家文書目録 (三)／二〇一五年三月◆平成二七年度企画展「変わりゆく香川―写真のアーカイブズ―」【チラシ】／「二〇一五年三月」◆「風水害のアーカイブズ」【チラシ】／「二〇一五年六月」
- 福岡共同公文書館**◆福岡共同公文書館だより Vol.〇五～〇七／

- 二〇一四年二月～二〇一五年一月◆福岡共同公文書館 第五回  
企画展「福岡県の災害の記録」「ポスター」「チラシ」／「二〇一五年  
一月」◆平成二七年度 第一回企画展「百道松風園～終戦と子どもた  
ち～」【ポスター】「チラシ」／「二〇一五年六月」◆平成二五年度福  
岡共同公文書館年報 第三号／二〇一五年九月
- 天草市立天草アーカイブズ◆平成二六年度天草市立天草アーカイブズ  
年報 第一二号／二〇一五年三月
- 沖縄県公文書館◆沖縄県公文書館だより ARCHIVESアーカイブズ  
第四八号／二〇一五年二月◆沖縄県公文書館研究紀要 第一七号／  
二〇一五年三月◆沖縄県公文書館だより ARCHIVESアーカイブ  
ズ 第四九号／二〇一五年八月
- 諸団体・個人
- 公益財団法人 泉美術館◆「ヒロシマ七〇ー入野忠芳の遺作ととも  
に」【パンフレット】／「二〇一五年四月」◆被爆七〇年記念写真展  
「復興の記憶ーヒロシマを見つめた写真家たち」【チラシ】／  
「二〇一五年六月」
- ヴィータ・ムジカレ・東広島◆ヴィータ・ムジカレ オペラ 第  
一三回公演「愛のかたち」【チラシ】／「二〇一五年二月」
- 旧制高等学校記念館◆記念館だより 第六五～六七号／二〇一五年三  
月～一月◆企画展「教育博物館五〇年の歩み」【ポスター】「チラ  
シ」／「二〇一五年七月」
- 芸備地方史研究会◆芸備地方史研究 第二九二～二九七号／二〇一五

- 年二月～六月
- 国際平和拠点ひろしま構想推進連携事業実行委員会◆Hiroshima  
Reconstruction and Peacebuilding Research Project Learning  
from Hiroshima's Reconstruction Experience:Reborn from the  
Ashes／二〇一四年三月
- 三州倶楽部◆三州倶楽部会報第一六五号～一六九号／二〇一五年一月  
～二〇一六年一月
- 全国大学史料協議会東日本部会◆大学アーカイヴズ No.五十一～五二  
／二〇一四年一月～二〇一五年三月◆第二回全国大学史展「学生  
たちの戦前・戦中・戦後」【ポスター】「チラシ」／「二〇一五年六月」  
◆第二回全国大学史展「学生たちの戦前・戦中・戦後」【図録】／  
二〇一五年七月
- 全国大学史料協議会西日本部会◆研究叢書第一五号 大学史料の  
活用と展示ー二〇一三年度全国研究会の記録 於：明治大学ー／  
二〇一四年二月◆研究叢書第一六号 学内業務文書の管理と活用  
ー二〇一五年度全国研究会の記録 於：桃山学院・大阪大学ー／  
二〇一五年一月◆全国大学史料協議会 西日本部会 二五周年  
記念誌／二〇一五年七月
- 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会◆全国歴史資料保存利用機関連  
絡協議会 会報九六号／二〇一四年九月◆記録と史料 第二四号  
／二〇一五年三月◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会 会報  
九七号 第四〇回 福岡大会特集号／二〇一五年三月◆全国歴史資  
料保存利用機関連絡協議会 東日本大震災臨時委員会活動報告書



二〇一〇～二〇一二年度／二〇一五年三月◆全国歴史資料保存利用  
機関連絡協議会 会報九八号／二〇一五年九月

大学基準協会◆じゅあ 第五四～五五号／二〇一五年三月～一〇月

大学教育学会◆大学教育学会誌 第三六卷 第二号／二〇一四年一  
月

中国基層社会史研究会◆国際シンポジウム 東アジア史の比較・連関  
からみた中華人民共和国成立初期の国家・基層社会の構造的変動／  
二〇一四年三月

日本古文書学会◆二〇一五年度 日本古文書学会大会「古文書学への  
招待 ひらかれる研究の窓」『ポスター』／二〇一五年七月

野間教育研究所◆野間教育研究所紀要 第五五集「絵本に関する実証  
的研究」『新・講談社の絵本』を中心として／二〇一五年五月

◆野間教育研究所紀要 第五七集『学校沿革史の研究 高等学校編  
二』／二〇一五年八月

白山史学会◆白山史学第五十一号／二〇一五年五月◆白山史学会第  
五三回大会・研究発表会「チラシ」／二〇一五年一月

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室◆阪神・淡路大  
震災記念 人と防災未来センター資料室「リーフレット」／二〇一四  
年◆二〇一四年度 企画展「震災資料をつなぐー収集・保存の軌跡  
ー」『チラシ』／二〇一四年一〇月◆人と防災未来センター資料室

ニュース Vol.五五～五八／二〇一四年二月～二〇一五年二月◆  
阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室「案内リーフ

レット」／二〇一五年

東アジア近代史学会◆東アジア近代史学会会報 第三九号／二〇一五  
年一〇月

ひろぎん経済研究所◆はやわかり広島県(英訳版)／二〇一四年八月  
広島観光コンベンションビューロー◆ひろしま観光コンベンション

Vol.九七～一〇〇／二〇一五年一月～一〇月

「ヒロシマと音楽」委員会◆ドキュメンタリー映画「音の記憶・つな  
がり」『DVD』／二〇一五年四月

皆実有朋アーカイブズ継承委員会◆皆実有朋アーカイブズ報告 Vol.三  
二〇一三年度／二〇一四年一月

吉川弘文館◆本郷 第一一七号／二〇一五年五月

吉野作造記念館◆二〇一五年度前期企画展 戦後七〇周年記念「日本

国憲法の誕生と吉野作造」『チラシ』／二〇一五年五月◆吉野作造  
記念館二〇一五年度前期企画展「戦後七〇周年記念 日本国憲法の

誕生と吉野作造」『展示目録』／二〇一五年六月

頼山陽史跡資料館◆平成二六年度企画展「文人たちの手紙」『チラシ』  
／二〇一四年九月◆第三二回ロビーコンサートのご案内「ヴァイ

オリンの調べー秋の風ー」『チラシ』／二〇一四年九月◆平成二七  
年「ひな人形と春の書画展」『チラシ』／二〇一五年二月◆平成

二六年度全国公募「南画精華展」『チラシ』／二〇一五年二月◆頼  
山陽史跡資料館特集展「現代刀の魅力」『チラシ』／二〇一五年六月

◆頼山陽史跡資料館 開館二十周年記念特別展「風流才子の交わり  
ー頼山陽と田能村竹田を中心にー」『チラシ』／二〇一五年九月



わだつみのこえ記念館◆わだつみのこえ記念館 記念館だより No.九  
／二〇一五年七月◆わだつみのこえ記念館紀要 二〇一五年十一月  
(第一号)／二〇一五年一月

木永勝也◆長崎市史編さん委員会『新長崎市史 第四卷現代編』／  
二〇一三年五月◆長崎市史編さん委員会『新長崎市史 第三卷近代  
編』／二〇一四年三月◆長崎新聞社「わかる!和華蘭『新長崎市史』  
普及版』／二〇一五年三月

久保田靖子◆西広島ベンクラブ 第二五集／二〇一四年一月◆広  
島ベンクラブ会誌 二〇一五(上)／二〇一五年一月

小池聖一◆史学雑誌 第一二三編 第一〇から二二号、第一二四編  
第一、四、六から九号／二〇一四年一月～二〇一五年九月◆史学  
研究 第二八六～二八九号／二〇一四年二月～二〇一五年九月◆  
日本史研究 第六二六～六三八号／二〇一四年一月～二〇一五年  
一月◆日本歴史 二〇一四年一月号 第七九八～二〇一五年  
一月号 第八一〇号／二〇一四年一月～二〇一五年一月◆地  
方史情報 一一一～一二六／二〇一四年一月～二〇一五年一月◆  
◆IDE現代の高等教育 No.五六一、五六四～五七三／二〇一四年  
六月～二〇一五年八月◆中央史学 第三八号／二〇一五年三月◆吉  
川弘文館 出版図書目録 二〇一五／二〇一五年五月◆広島中央  
合唱団 第五〇回定期演奏会「チラシ」／二〇一五年七月」  
志津木敬◆『芸術学教育基準』に関する考察―放送芸術学を手掛かり  
にして―「日本放送芸術学会『放送芸術学』No.二六 抜刷』／  
二〇一三年九月

津田通夫◆津田通夫『ありがとう気をつけて』／二〇一四年五月◆  
津田通夫『ありがとう気をつけて 津田(曾田)妙子の生きた時  
代(フォト年表)』／二〇一四年五月

富沢佐一◆秋山和慶・富沢佐一『ところで、きょう指揮したのは？  
秋山和慶回想録』／二〇一五年二月

中野目徹◆近代史料研究 第十五号／二〇一五年一月

新名一仁◆新名一仁『戒光祥研究叢書第三卷 室町期島津氏領国の  
政治構造』／二〇一五年一月

藤本素子◆永懐 広島高等師範学校五十年史／一九五一年一月

牧原憲夫◆牧原憲夫『山代巴 模索の軌跡』／二〇一五年四月

村上須賀子◆村上須賀子『変化を生みだすソーシャルワーカーヒロ  
シマMSWの生活史から』／二〇一五年九月

山尾正道◆上野邦彦『生きもの賛歌』／二〇一五年五月◆上野邦彦  
『凍える大地 シベリア抑留の日々』／二〇一五年六月

行武郁子◆行武郁子『愛は生きる力』NHK学園／二〇一三年六月

## 学内

法人本部◆HUSThe 二〇一五年一月号 Vol.40／二〇一五年一〇

月号 Vol.43(季刊)／二〇一五年一月～一〇月◆広大通信(第  
八六～九八号)／二〇一四年二月～二〇一五年二月◆広大人通

信 増刊号(二〇一五年三月六日)／二〇一五年三月◆広島大学だ  
より 第三号／二〇一二年四月◆平成二七年度 広島大学カレン  
ダー／二〇一五年三月◆被爆した南方特別留学生への名誉博士号

授与の記録／二〇一五年三月◆広大の環境目標をご存知ですか？  
「ポスター」／二〇一五年四月

大学院総合科学研究科◆叢書インテグラール013 ミスコミュニケーション  
シヨーンー言語学徒 英語学徒が語る／二〇一五年一月

大学院教育学研究科◆幼年教育研究年報 第三七巻／二〇一五年一〇  
月◆広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育施設創立50周年記念  
行事「パンフレット」／「二〇一五年一〇月」

大学院医歯薬保健学研究科◆広島大学大学院医歯薬保健学研究科広  
報誌 第六、七号 HIROSHIMA UNIVERSITY BHS NEWS /  
二〇一四年二月、二〇一五年六月

大学院工学研究科◆広島大学 大学院工学研究科研究年報二〇一四  
第六三巻 別冊(二〇一五)／二〇一五年六月

大学院国際協力研究科◆国際協力研究誌 第二二巻／二〇一五年三月  
原爆放射線医学研究所◆広島大学原爆放射線医学研究所 要覧

二〇一四／「二〇一四年」◆広島大学原爆放射線医学研究所 要覧  
二〇一五／「二〇一五年」

高等教育研究開発センター◆高等教育研究叢書一二九 大学教育の組  
織的实践ー小学校教員養成を事例にー／二〇一五年二月◆RIHE

International Seminar Reports No.22／二〇一五年二月◆大学論集  
第四七集(二〇一四年度)／二〇一五年三月◆戦略的研究プロジェクト

クトシリーズⅩ「大学の機能別分化の現状と課題」／二〇一五年三  
月◆HIGHER EDUCATION FORUM Volume 12, March 2015 /

「二〇一五年三月」◆高等教育研究叢書一三〇 高等教育とグローバ

ル化とグローバル人材養成の課題・可能性ー第四二回(二〇一四  
年度) 研究員集会の記録ー／二〇一五年五月◆コリィグ No.四八 /  
二〇一五年五月◆広島大学高等教育研究開発センター外部評価報告  
書／二〇一五年七月

自然科学研究支援開発センター◆広島大学自然科学研究支援開発セン  
ター年報 二〇一四／「二〇一五年八月」

教育開発国際協力研究センター◆CORED・広島大学 極限宇宙研  
究拠点が拓く教育研究「チラシ」／「二〇一四年十二月」◆第一二回  
国際教育協力日本フォーラムー自立的教育開発に向けた国際協力ー  
「ポスター」／「二〇一五年一月」

保健管理センター◆総合保健科学 広島大学保険管理センター研究論  
文集 第三一巻／二〇一五年三月

平和科学研究センター◆広島平和科学 三六／二〇一五年三月◆  
IPSUD 研究報告シリーズ 研究報告No.五一 広島大学平和科学研

究センター／新潟県立大学共催国際シンポジウム 混沌とする世界  
における国際機関の強化ーヒロシマの果たす役割はー／二〇一五年  
三月◆広島大学平和科学研究センター Newsletter 二〇一五年 /

「二〇一五年六月」

総合博物館◆広島大学総合博物館研究報告 第六号／二〇一四年  
二月◆広島大学総合博物館ニュースレター Vol.八／二〇一五年三

月◆広島大学総合博物館カレンダー 二〇一五〜二〇一六「キャン  
パスまるごとミュージアム《桜編》」／「二〇一五年四月」◆広島大学

総合博物館 設立一〇周年記念企画展 Part 1「海の博物誌」エ

ビ・カニの博物画と研究最前線」 「チラシ」 / 「二〇一五年五月」 ◆  
 広島大学総合博物館 設立一〇周年記念 企画展 Part 2 「人と自然―今、ネイチャーへ」 「ポスター」 「チラシ」 / 「二〇一五年一〇月」  
 サステナブル・ディベロップメント実践研究センター ◆ 広大サステナブル通信 第七号 / 「二〇一五年七月」 ◆ 国際サステナブル科学リダー育成システム 平成二二年～二六年度 (二〇一〇―二〇一四年度) 成果報告書 / 「二〇一五年三月」  
 ハラスメント相談室 ◆ ハラスメント相談室年報 (平成二六年度版) / 「二〇一五年三月」  
 エクステンションセンター ◆ 「教養と知識の玉手箱 ひらくのは、あなた」 広島大学公開講座二〇一五 / 「二〇一五年三月」 ◆ 平成二七年度前期 (四月～九月) 学習メニューブック / 市全体を、学びのキャンパスに / 「二〇一五年四月」  
 技術センター ◆ 広島大学技術センター 「パンフレット」 / 「二〇一五年三月」 ◆ 広島大学技術センター報告集 第一一〇号 平成二六年度 / 「二〇一五年七月」  
 男女共同参画推進室 ◆ 広島大学の男女共同参画二〇一四～平成二六年度成果報告書  
 校友会 ◆ 広島大学校友会だより Vol.一八 / 「二〇一五年九月」  
 中国・四国地区国立大学法人等 職員採用試験実施委員会 採用試験事務室 ◆ 平成二五年度中国・四国地区国立大学法人等 職員の仕事紹介ブック / 「二〇一三年」  
 広島大学附属中・高等学校 ◆ 広島大学附属中・高等学校 創立二一〇

年史―この一〇年を中心として― / 「二〇一五年三月」

広島大学教職員組合 ◆ ひろば No.五八～六二 / 「二〇一五年一月～二年八月」

広島大学工学同窓会 ◆ 広島大学工学同窓会誌 第一三八号 / 「二〇一五年八月」

アカシア会 ◆ 会報『アカシア』 第四九〇～五〇二号 / 「二〇一四年二月～二〇一五年二月」 ◆ アカシア一〇 記念事業特集 第一～六号 / 「二〇一四年一～七月」

広島大学体育会漕艇部 (広島大学教育室学生生活支援グループ経由) ◆ みささ 第五二号 / 「二〇一五年四月」

広島大学消費生活協同組合 ◆ 生協だより 第一三五、一三六号 / 「二〇一五年四月、二月」 ◆ 広島大学入学アルバム二〇一五 / 「二〇一五年八月」 ◆ 広島大学卒業アルバム二〇一五 / 「二〇一五年九月」 ◆ 広島大学卒業記念DVD / 「二〇一五年九月」

○広島大学文書館特定歴史公文書等の利用等に関する内規

(平成二十三年四月一日文書館長決裁)

改正 平成二十七年三月四日 一部改正

(趣旨)

第一条 この内規は、広島大学文書館特定歴史公文書等利用等規則(平成二十三年三月二三日規則第一号、以下「規則」という。)第三三条の規定に基づき、広島大学文書館(以下「文書館」という。)が保存する特定歴史公文書等の利用等に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第二条 この内規において使用する用語は、規則において使用する用語の例による。

(利用請求書)

第三条 規則第一〇条第二項に規定する利用請求書の標準様式は、別記様式第一号のとおりとする。

(第三者に対する意見提出機会の付与等に係る書面)

第四条 規則第一四条第一項に規定する第三者に対する通知に係る書面の様式は、別記様式第二号のとおりとする。

二 規則第一四条第二項に規定する第三者に対する通知に係る書面の様式は、別記様式第三号のとおりとする。

三 前二項の通知に対する意見書の様式は、別記様式第四号のとおりとする。

四 規則第一四条第三項に規定する第三者に対する通知に係る書面の様式は、別記様式第五号のとおりとする。

(利用決定等に係る書面)

第五条 規則第一五条第一項及び第二項に規定する利用請求者に対する通知に係る書面の様式は、別記様式第六号のとおりとする。

二 規則第一五条第三項に規定する利用請求者に対する通知に係る書面の様式は、別記様式第七号のとおりとする。

三 規則第一五条第四項に規定する利用請求者に対する通知に係る書面の様式は、別記様式第八号のとおりとする。

(利用決定の通知に係る書面)

第六条 規則第一六条第一項に規定する利用決定通知書の様式は、別記様式第九号のとおりとする。

(利用の方法申出書に係る書面)

第七条 規則第一六条第二項に規定する利用の方法申出書の様式は、別記様式第一〇号のとおりとする。

(公文書管理委員会への諮問等に係る書面)

第八条 規則第二一条第一項に規定する公文書管理委員会への諮問に係る書面の様式は、別記様式第一一号のとおりとする。

二 規則第二一条第二項に規定する異議申立人等への通知に係る書面の様式は、別記様式第一二号のとおりとする。

(本学の利用申込みに係る書面)

第九条 規則第二七条に規定する移管文書利用申込書の様式は、別記様式第一三号のとおりとする。

(閲覧室における利用請求等の受付時間等)

第一〇条 閲覧室の受付(以下「利用受付」という。)における特定歴史公文書等の利用請求及び簡便な方法による利用の受付時間は、午前九時三〇分から午前十一時四十五分まで及び午後一時から午後四時までの間とする。

二 文書館は、特別な必要がある場合には、臨時に、前項の受付時間を変更することができる。この場合において、文書館は、原則として受付時間を変更する日の二週間前までにその旨及び理由を公表する。

三 文書館は、利用受付に特定歴史公文書等の利用請求書の提出があつた場合は、利用制限事由の存否に係る確認作業が必要等の事情がある場合を除き、利用請求があつた当日に利用決定を行い、利用請求者に決定の内容を通知するものとする。

(閲覧室の利用登録等)

第一一条 閲覧室における特定歴史公文書等の利用を希望する者は、広島大学文書館学術的資料の利用等に関する内規(平成一六年四月一日文書館長決裁)第九条第一号に規定する広島大学文書館閲覧室利用申込書を利用受付に提出し、同項に規定する広島大学文書館閲覧室利用カード(以下「利用カード」という。)の交付を受けるものとする。ただし、申込みの日に限って利用を希望する者については、利用カードの交付を省略することができる。

二 利用カードの交付を受けた者は、次回以降閲覧室に入室する際、利用カードを閲覧受付に提出するものとする。

三 利用カードの有効期間は、一年を超えない範囲内で文書館が定める。

(閲覧の場所)

第一二条 特定歴史公文書等の閲覧は、原則として当該特定歴史公文書等を保存する場所の閲覧室で行うものとする。ただし、文書館は、業務の遂行に支障のない範囲内で、閲覧の場所を指定することができる。

(特定歴史公文書等の受渡し等)

第一三条 閲覧に係る特定歴史公文書等の受渡しは、利用受付において職員の確認を得て行うものとする。

二 閲覧室において利用者が同時に閲覧できる特定歴史公文書等は、五件以内かつ五冊を超えないものとする。

(特定歴史公文書等の撮影)

第一四条 特定歴史公文書等の利用者は、特定歴史公文書等の閲覧に際して自らカメラその他の撮影機器での撮影を行うことができる。この場合において、利用者は、職員の指示に従うものとする。

(特定歴史公文書等の返却)

第一五条 特定歴史公文書等の返却は、利用受付において職員の確認を得て行うものとする。

(簡便な方法による利用の対象)

第一六条 規則第二二条第一項の規定により、文書館は、利用の促進を図るため、特定歴史公文書等(目録において利用制限の区分が非公開及び要審査とされているものを除く。以下この条及び次条にお

いて同じ。)について、利用請求の手続によらず利用に供することができる。

(簡易閲覧の申込み)

第一七条 前条により特定歴史公文書等(規則第七条により作成された複製物を含む。以下この条において同じ。)の閲覧を希望する者は、特定歴史公文書等簡易閲覧申込書(別記様式第一四号。以下「簡易閲覧申込書」という。)を利用受付に提出するものとする。

二 文書館は、利用受付に簡易閲覧申込書の提出があった場合は、原則として簡易閲覧申込書が提出された当日に当該特定歴史公文書等を閲覧に供するものとする。

(入館の制限等)

第一八条 文書館は、他人に迷惑を及ぼした者又は及ぼすおそれのある者及び特定歴史公文書等を滅失、破損若しくは汚損を生じさせた者又は生じさせるおそれのある者に対して、退館を命じ、又は入館を拒否することができる。

二 文書館は、この内規若しくはその他の規則等に違反し、又は文職員の指示に従わない者に対して、特定歴史公文書等の利用を停止することができる。

(弁償の責任)

第一九条 利用者は、その責に帰すべき事由により、施設、物品若しくは特定歴史公文書等を滅失し、破損し、又は汚損したときは、その損害を賠償するものとする。

(利用者の責任)

第二〇条 利用者は、特定歴史公文書等に含まれる情報を利用することによって著作権、プライバシー等第三者の権利利益を侵害したときは、その一切の責任を負うものとする。

(雑則)

第二一条 この内規に定めるもののほか、この内規の実施に関し必要な事項は、別に定める。

附則

この内規は、平成二三年四月一日から施行する。

附則

この内規は、平成二七年四月一日から施行する。

別記様式第一号 (第三条関係)

特定歴史公文書等利用請求書

[別紙参照]

別記様式第二号 (第四条第一項関係)

第三者意見照会書 (法第一八条第一項関係の意見書)

特定歴史公文書等の利用請求に関する意見について(照会)

[別紙参照]



別記様式第三号（第四条第二項関係）

第三者意見照会書（法第一八条第二項関係の意見書）

特定歴史公文書等の利用請求に関する意見について（照会）

〔別紙参照〕

別記様式第八号（第五条第三項関係）

利用決定の期限の特例の適用について（通知）

〔別紙参照〕

別記様式第四号（第四条第三項関係）

第三者意見照会書（法第一八条第一、二項関係の意見書）

特定歴史公文書等の利用に関する意見書

〔別紙参照〕

別記様式第九号（第六条関係）

特定歴史公文書等利用決定通知書

〔別紙参照〕

別記様式第五号（第四条第四項関係）

第三者意見照会書（法第一八条第三項関係の意見書）

特定歴史公文書等の利用に関する意見書

〔別紙参照〕

別記様式第一〇号（第七条関係）

特定歴史公文書等の利用の方法申出書

〔別紙参照〕

別記様式第六号（第五条第一項関係）

特定歴史公文書等の利用決定について（通知）

〔別紙参照〕

諮問書

〔別紙参照〕

別記様式第一二号（第八条第二項関係）

公文書管理委員会への諮問について（通知）

〔別紙参照〕

別記様式第七号（第五条第二項関係）

利用決定の期限の延長について（通知）

〔別紙参照〕

別記様式第一三号（第九条関係）

移管文書利用申込書

〔別紙参照〕

別記様式第一四号 (第一七条関係)  
 特定歴史公文書等簡易閲覧申込書  
 [別紙参照]

別記様式第1号(第3条関係)

特定歴史公文書等利用請求書

平成 年 月 日

広島大学文書館長 殿

氏名又は名称： (法人その他の団体にあつてはその名称及び代表者の氏名) 住所又は居所： (法人その他の団体にあつては主たる事務所等の所在地)

〒 TEL ( )

連絡先：(連絡先が「氏名又は名称」欄に記載された本人以外の場合は、連絡担当者の住所・氏名・電話番号)

公文書等の管理に関する法律第16条の規定に基づき、下記のとおり特定歴史公文書等の利用を請求します。

記

No.	整理番号	目録に記載された特定歴史公文書等の名称 (写しの交付の範囲を特定する場合はその範囲も併せて記載のこと(例：〇〇に関する部分))	利用方法(任意)
1			<input type="checkbox"/> 閲覧 <input type="checkbox"/> 写しの交付 ( 通 )
2			<input type="checkbox"/> 閲覧 <input type="checkbox"/> 写しの交付 ( 通 )
3			<input type="checkbox"/> 閲覧 <input type="checkbox"/> 写しの交付 ( 通 )
4			<input type="checkbox"/> 閲覧 <input type="checkbox"/> 写しの交付 ( 通 )
5			<input type="checkbox"/> 閲覧 <input type="checkbox"/> 写しの交付 ( 通 )
写しの作成方法 (任意)	文書又は 図画	<input type="checkbox"/> 用紙への複写 ( A4・B4・A3 ) [No. ] <input type="checkbox"/> 撮影によるデジタル化 ( <input type="checkbox"/> 可搬媒体への複写を希望する CD-R・DVD-R ) [No. ]	
	電磁的記録	<input type="checkbox"/> 電磁的記録の印画 ( A4・B4・A3 ) [No. ] <input type="checkbox"/> 電磁的記録の複写 ( <input type="checkbox"/> 可搬媒体への複写を希望する CD-R・DVD-R ) [No. ] <input type="checkbox"/> その他の方法 ( ) [No. ]	
写しの交付の方法	<input type="checkbox"/> 館において交付 <input type="checkbox"/> 郵送 (送付先 ) <input type="checkbox"/> その他の方法 ( )		

(注) 写しの作成方法及び回数については、写しの交付による利用を希望する場合のみ記入してください。

別記様式第2号(第4条第1項関係)

文書館第 号  
平成 年 月 日

(第三者) 様

広島大学文書館長 印

**特定歴史公文書等の利用請求に関する意見について (関係)**

(あなた、貴社等) に関する情報が記録されている下記の特定歴史公文書等について、公文書等の管理に関する法律第16条第1項の規定に基づく利用請求があり、当該特定歴史公文書等について利用決定を行う際の参考とするため、同法第18条第1項の規定に基づき、御意見を伺うこととしました。

つきましては、当該特定歴史公文書等を利用させることにつき御意見があるときは、同封した「特定歴史公文書等の利用請求に関する意見書」を提出いただきますようお願いいたします。なお、提出期限までに同意見書の御提出がない場合には、特に御意見がないものとして取り扱わせていただきます。

記

利用請求のあった特定歴史公文書等の名称 (整理番号)	
利用請求の年月日	平成 年 月 日
当該特定歴史公文書等に記録されている(あなた、貴社等)に関する情報の内容	
意見書の提出先	広島大学文書館 TEL:082-424-6050(代表)
意見書の提出期限	平成 年 月 日 ( )

\*本件連絡先  
広島大学文書館(担当室名 市鏡山1-1) (内線 )  
〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1  
TEL:082-424-6050(代表) FAX:082-424-6049 e-mail:bunshokan@office.hiroshima-u.ac.jp

別記様式第3号(第4条第2項関係)

文書館第 号  
平成 年 月 日

(第三者) 様

広島大学文書館長 印

**特定歴史公文書等の利用請求に関する意見について (関係)**

(あなた、貴社等) に関する情報が記録されている下記の特定歴史公文書等について、公文書等の管理に関する法律第16条第1項の規定による利用請求があり、利用決定を行いたいと考えています。

つきましては、同法第18条第2項の規定に基づき、御意見を伺いますので、当該特定歴史公文書等を利用させることにつき御意見がある場合は、同封した「特定歴史公文書等の利用請求に関する意見書」を御提出いただきますようお願いいたします。

なお、提出期限までに同意見書の御提出がない場合には、特に御意見がないものとして取り扱わせていただきます。

記

利用請求のあった定歴史公文書等の名称 (整理番号)	
利用請求の年月日	平成 年 月 日
法第18条第2項の規定を適用する理由	
当該特定歴史公文書等に記録されている(あなた、貴社等)に関する情報の内容	
意見書の提出先	広島大学文書館 TEL:082-424-6050(代表)
意見書の提出期限	平成 年 月 日 ( )

\*本件連絡先  
広島大学文書館(担当室名 市鏡山1-1) (内線 )  
〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1  
TEL:082-424-6050(代表) FAX:082-424-6049 e-mail:bunshokan@office.hiroshima-u.ac.jp

別記様式第4号(第4条第3項関係)

平成 年 月 日

**特定歴史公文書等の利用に関する意見書**

広島大学文書館長 殿

(ふりがな)

氏名又は名称

(法人その他の団体にあつては、その団体の代表者の氏名)

〒住所又は居所

(法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地)

連絡先 (電話番号)

平成 年 月 日付けで照会のあつた特定歴史公文書等の利用について、下記のとおり意見を提出します。

記

照会のあつた特定歴史公文書等の名称 (整理番号)	
利用に關しての御意見	<p>※</p> <p>1 意見はない。又は支障(不利益)はない。</p> <p>2 利用されると支障(不利益)がある。</p> <p>(1) 支障(不利益)がある部分</p> <p>(2) 支障(不利益)の具体的内容</p>
連絡先 (担当課、電話番号等)	

※ 1又は2のうち該当する番号に○印を付して下さい。2を選択された場合は、支障(不利益)がある部分及びその具体的内容も記載して下さい。

別記様式第5号(第4条第4項関係)

第 号  
平成 年 月 日

**特定歴史公文書等の利用に関する意見書**

広島大学文書館長 殿

移管元行政機関の長 印

平成 年 月 日付けで照会のあつた特定歴史公文書等の利用について、下記のとおり意見を提出します。

記

照会のあつた特定歴史公文書等の名称 (整理番号)	
利用に關しての御意見	<p>※</p> <p>1 特に意見はない。</p> <p>2 意見がある。</p> <p>(1) 意見がある部分</p> <p>(2) 意見に係る具体的理由</p>
連絡先 (担当課、電話番号等)	

(注) ※ 1又は2のうち該当する番号に○印を付して下さい。2を選択された場合は、支障(不利益)がある部分及びその具体的内容を記載して下さい。

別記様式第6号(第5条第1項) 文書館第 年 月 日 号  
 平成 年 月 日

**特定歴史公文書等の利用決定について(通知)**

(区対意見書を出出した第三者) 様 広島大学文書館長 印

(あなた、貴社等) から平成 年 月 日付けで「特定歴史公文書等の利用に関する意見書」の提出がありました。特定歴史公文書等については、下記のとおり利用に供することとしましたので、公文書等の管理に関する法律第18条第4項の規定に基づき通知します。

記

- 1 利用に供することとした特定歴史公文書等の名称
- 2 利用に供することとした理由
- 3 利用に供する日

\* 本件連絡先  
 広島大学文書館(担当者名 ) (内線 )  
 TEL:082-424-6050(代表) FAX:082-424-6049 e-mail:hmsyokan@office.hiroshima-u.ac.jp

この決定に不服があるときは、行政不服審査法(昭和37年法律第160号)第6条に基づき、この決定があったことを知った日の翌日から起算して60日以内に広島大学文書館に対して異議申立てをすることができます。  
 また、この決定の取消しを求める訴訟を提起する場合は、行政事件訴訟法(昭和27年法律第139号)の規定により、この決定があったことを知った日から6ヶ月以内に、国を被告として、広島地方裁判所に是の取消しの訴えを提起することができます。

別記様式第7号(第5条第2項) 文書館第 年 月 日 号  
 平成 年 月 日

**利用決定の期限の延長について(通知)**

(利用請求者) 様 広島大学文書館長 印

平成 年 月 日付けの特定歴史公文書等の利用請求については、広島大学文書館利用等規則第15条第3項の規定を適用し、下記のとおり、利用決定の期限を延長することとしましたので通知します。

記

- 1 利用請求のあった特定歴史公文書等の名称
- 2 延長後の期限
- 3 延長の理由

\* 本件連絡先  
 広島大学文書館(担当者名 ) (内線 )  
 TEL:082-424-6050(代表) FAX:082-424-6049 e-mail:hmsyokan@office.hiroshima-u.ac.jp

別記様式第8号 (第5条第3項関係) 文書館第 平成 年 月 日

**利用決定の期限の特例の適用について (通知)**

(利用請求者) 様 広島大学文書館長 印

平成 年 月 日付けの特定歴史公文書等の利用請求については、下記のとおり、広島大学文書館利用等規則第15条第4項の規定 (利用決定の期限の特例) を適用することとしますので通知します。

記

- 1 利用請求のあった特定歴史公文書等の名称
- 2 第15条第4項の規定 (利用決定の期限の特例) を適用することとした理由
- 3 利用決定する期限  
( 月 日までに可能な部分について利用決定を行い、残りの部分については、次に記載する時期までに利用決定する予定です。)  
月 日 ( )

\* 本件連絡先  
広島大学文書館 (担当者名) (内線) ( )  
TEL: 082-424-6050 (代表) FAX: 082-424-6049 e-mail: hmsyokan@office.hiroshima-u.ac.jp

別記様式第9号 (第6条関係) 文書館第 平成 年 月 日

**特定歴史公文書等利用決定通知書**

(利用請求者) 様 広島大学文書館長 印

平成 年 月 日付けで請求のありました特定歴史公文書等の利用について、公文書等の管理に關する法律第16条の規定に基づき、下記のとおりとすることとしますので通知します。

記

- 1 原本を利用に供する特定歴史公文書等の名称及び利用制限を行う部分があればその理由
- 2 写しを利用に供する特定歴史公文書等の名称、原本の利用を認めない理由及び利用制限を行う部分があればその理由
- 3 利用を認めないこととした特定歴史公文書等の名称及び利用を認めない理由

\* この決定に不服がある場合は、行政不服審査法 (昭和77年法律第60号) 第9条の規定によりこの決定がなされた日の起算日から起算して60日以内、広島大学文書館に付し、書面形式でなすことができます。また、この決定の取消しを求め、行政訴訟を提起する場合は、行政事件訴訟法 (昭和37年法律第99号) の規定によりこの決定があったことを知った日から6ヶ月以内に、国を被告として、広島地方裁判所に処分の取消しの訴えを提起することができます。

4 利用の方法

(1) 利用の方法

特定歴史公文書等の名称	利用の方法	写しを送付する場合の準備日数

(2) 事務所における開示を実施することができる日時、場所

\* 本件連絡先  
広島大学文書館 (担当者名) (内線) ( )  
TEL: 082-424-6050 (代表) FAX: 082-424-6049 e-mail: hmsyokan@office.hiroshima-u.ac.jp



別記様式第10号 (第7条関係) 平成 年 月 日

### 特定歴史公文書等の利用の方法申出書

広島大学図書館長 殿

氏名又は名称  
住所又は居所  
連絡先電話番号

特定歴史公文書等の利用について、下記のとおり申出をします。

記

1 利用決定通知書の番号等

\* 日 付  
\* 文書番号

2 求める利用の方法

下表から実施の方法を選択し、該当するものに○印を付してください。

* 特定歴史公文書等の名称	種類・量	利用の方法
	1	①全部 ( )
	2	①全部 ( ) ②一部 ( )
	3	①全部 ( ) ②一部 ( )

3 利用を希望する日

4 「写しの送付」の希望の有無 [ 有 : 同封する郵便切手の額 円 ]

\* 本件連絡先

課 係 (担当者名) (内線)  
電 話: FAX: e-mail:

別記様式第11号 (第8条第1項関係)

### 諮 問 書

文書館第 号  
平成 年 月 日

公文書管理委員会 御中

広島大学図書館長 印

公文書等の管理に関する法律第16条の規定に基づく利用決定について、別紙のとおり、異議申立てがあったので、同法第21条の規定に基づき諮問します。

(別紙)

1 異議申立てに係る特定歴史公文書等の名称	
2 異議申立てに係る利用決定 (利用決定の種類) <input type="checkbox"/> 全部利用 <input type="checkbox"/> 一部利用 (該当利用制限事由又は複製物の利用) <input type="checkbox"/> 利用を認めない旨の決定 (該当する利用制限事由)	(1) 利用決定の日付、記号番号 (2) 利用決定をした者 (3) 利用決定の種類
3 異議申立て	(1) 異議申立日 (2) 異議申立人 (3) 異議申立ての趣旨
4 諮問の理由	
5 参加人等	
6 添付書類等	① 特定歴史公文書等利用請求書(写し) ② 特定歴史公文書等利用決定通知書(写し) ③ 異議申立書(写し) ④ 理由説明書 ⑤ 利用に供した特定歴史公文書等(写し) ⑥ その他参考資料
7 諮問方針担当職、担当者 電話、住所等	

注1) 2の「(利用決定の種類)」については、該当する利用決定の□をチェックすること。また、一部利用決定又は利用を認めない旨の決定の場合には、公文書管理法上の該当条項を記載すること。

注2) 4の「諮問の理由」については、例えば、「原処分の維持が適当と考えるため。」、「全部利用を認める理由を簡潔に記述すること。」、「第三者の反対意見が提出されているため。」など、諮問を必要とする理由を簡潔に記述すること。

注3) 6の⑥の「その他参考資料」とは、第三者から反対意見書が提出されている場合の当該反対意見書や、行政文書審査委員会からの説明、第12条の代理人又は第13条の参加人の委任状は決定がなされている場合はこれを必ず添付すること。

別記様式第12号 (第8条第2項関係)

文書館第 号  
平成 年 月 日

(異議申立人等) 様 広島大学文書館長 印

公文書管理委員会への諮問について (通知)

公文書等の管理に関する法律第16条の規定に基づく利用決定に対する次の異議申立てについて、同法第21条の規定により公文書管理委員会に諮問したので、同法第22条の規定により通知します。

1 異議申立てに係る特定歴史公文書等の名称	
2 異議申立てに係る利用決定	
3 異議申立て	(1) 異議申立日 (2) 異議申立ての趣旨
4 諮問日・諮問番号	平成 年 月 日・平 諮問 号

広島大学文書館  
〒739-8564 広島県東広島市鏡山1-1-1  
TEL:082-424-6050(代表)

注1) 「2 異議申立てに係る利用決定」の欄については、利用決定の日付・記号番号・利用決定した者・利用決定の種類(利用決定、部分利用決定又は利用を認めない旨の決定)を記載すること。

注2) 4の「諮問番号」は、公文書管理委員会が付す番号である。

別記様式第13号(第9条関係)

複製文書利用申込書

1. 区分及び年月日(該当箇所の□にチェックして下さい。)
- 利用請求 (平成 年 月 日)
  - 利用日 (平成 年 月 日)
  - 返却 (平成 年 月 日)
  - 返却確認 (平成 年 月 日)

2. 申込者

〔窓口〕 室・グループ等 電話 ( )

氏名 \_\_\_\_\_

〔利用箇所〕 室・グループ等 電話 ( )

氏名 \_\_\_\_\_

3. 利用希望年月日 平成 年 月 日 ( )

4. 返却予定年月日(館外の閲覧を希望する場合) 平成 年 月 日 ( )

5. 利用目的・内容

・目的( )

・内容(複製時の部局名等も記載 )

項番	整理番号	特定歴史公文書等の名称	館記取得 返却確認
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

別記様式第14号(第17条第1項関係)

特定歴史公文書等簡易閲覧申込書

平成 年 月 日

広島大学文書館長 殿

氏名又は名称：(法人その他の団体にあつてはその名称及び代表者の氏名)

特定歴史公文書等の閲覧について、下記のとおり申込をします。

記

No.	請求番号	目録に記載された特定歴史公文書等の名称 (件名により特定する場合はその範囲も併せて記載のこと)	冊数	閲覧方法の希望*
1				<input type="checkbox"/> 原本 <input type="checkbox"/> 複製物等
2				<input type="checkbox"/> 原本 <input type="checkbox"/> 複製物等
3				<input type="checkbox"/> 原本 <input type="checkbox"/> 複製物等
4				<input type="checkbox"/> 原本 <input type="checkbox"/> 複製物等
5				<input type="checkbox"/> 原本 <input type="checkbox"/> 複製物等

(注) 広島大学文書館特定歴史公文書等利用等規則第22条第1項に基づき、利用の促進を図るため、目録において利用制限の区分が公開及び部分公開とされている特定歴史公文書については、利用請求の手続によらずに、この様式をもって簡易に閲覧をすることができます。

○広島大学文書館学術的資料の利用等に関する内規

(平成一六年四月一日文書館長決裁)

改正 平成一七年四月二日 一部改正 平成二三年四月一日 一部改正

平成二七年三月四日 一部改正

(趣旨)

第一条 この内規は、広島大学文書館規則(平成一六年四月一日規則

第五三三号) 第二二条の規定に基づき、広島大学文書館(以下「文書館」という。)が所蔵し、公開している重要な公文書その他の記録(公文書等の管理に関する法律(平成二一年法律第六六号) 第二条第七項に規定する特定歴史公文書等を除く。以下「学術的資料」という。)の利用等に関し必要な事項を定めるものとする。

(文書館の業務)

第二条 文書館は、文書館が所蔵し、公開している学術的資料の利用に関し、次に掲げる業務を行うものとする。

- (一) 閲覧
  - (二) 複写
  - (三) レファレンス
  - (四) 展示
  - (五) 貸出し
- (公開)

第三条 学術的資料は、一般の利用に供するものとする。ただし、次条に掲げる場合は、この限りでない。

第四条 文書館長は、次に掲げる範囲内で、学術的資料の一般の利用

を制限することができる。

(一) 学術的資料(その作成又は取得の日の属する年度の翌年度の四月一日から起算して三〇年を経過していないものに限る。)に次に掲げる情報が記録されていると認められる場合において、当該学術的資料(当該情報が記録されている部分に限る。)の一般の利用を制限すること。

イ 個人に関する情報(事業を営む個人の当該事業に関する情報を除く。)であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの(他の情報と照合することにより、特定の個人を識別することができることとなるものを含む。)又は特定の個人を識別することはできないが、公にすることにより、なお個人の権利利益を害するおそれがあるもの。ただし、次に掲げる情報を除く。

- (i) 法令の規定により又は慣行として公にされ、又は公にすることが予定されている情報
- (ii) 人の生命、健康、生活又は財産を保護するため、公にすることが必要であると認められる情報
- (iii) 当該個人が公務員等(国家公務員法(昭和二二年法律第一二〇号) 第二条第一項に規定する国家公務員(独立行政法人通則法(平成一一年法律第一〇三号) 第二条第二項に規定する特定独立行政法人の役員及び職員

を除く。)、独立行政法人等(独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成一三年法律第一四〇号)第二条第一項に規定する独立行政法人等をいう。以下同じ。)の役員及び職員並びに地方公務員法(昭和二五年法律第二六一号)第二条に規定する地方公務員をいう。)である場合において、当該情報がその職務の遂行に係る情報であるときは、当該情報のうち、当該公務員等の職及び当該職務遂行の内容に係る部分

を除外する。以下「法人等」という。)に関する情報又は事業を営む個人の当該事業に関する情報であつて、次に掲げるものの。ただし、人の生命、健康、生活又は財産を保護するため、公にすることが必要であると認められる情報を除く。

ロ 法人その他の団体(国、独立行政法人等及び地方公共団体を除く。以下「法人等」という。)に関する情報又は事業を営む個人の当該事業に関する情報であつて、次に掲げるものの。ただし、人の生命、健康、生活又は財産を保護するため、公にすることが必要であると認められる情報を除く。

(i) 公にすることにより、当該法人等又は当該個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるもの

(ii) 本学の要請を受けて、公にしないとの条件で任意に提供されたものであつて、法人等又は個人における通例として公にしないこととされているものその他の当該条件を付することが当該情報の性質、当時の状況等に照らして合理的であると認められるもの

ハ 公にすることにより、国の安全が害されるおそれ、他国若しくは国際機関との信頼関係が損なわれるおそれ又は他国若

しくは国際機関との交渉上不利益を被るおそれがあると認めらるることにつき相当の理由がある情報

(二) 学術的資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は法人等から寄贈又は寄託を受けている場合において、当該期間が経過するまでの間、当該学術的資料の全部又は一部の利用を制限すること。

(三) 学術的資料の原本を利用させることにより当該原本の破損若しくはその汚損を生じるおそれがある場合又は文書館において当該原本が現に使用されている場合(文書館における保存及び利用の開始のために必要な措置を行う場合を含む。)において、当該原本の一般の利用の方法又は期間を制限すること。

二 学術的資料(その作成又は取得の日の属する年度の翌年度の四月一日から起算して三〇年を経過していないものを除く。以下この条において同じ。)に前項第一号ロに掲げる情報が記録されていると認められる場合は、文書館長は、別表に掲げる範囲内で、当該学術的資料(当該情報が記録されている部分に限る。)の一般の利用を制限することができる。

三 学術的資料に第一項第一号ロに掲げる情報が記録されていると認められる場合において、当該情報が次に掲げるものであると認められるときは、文書館長は、当該学術的資料(当該情報が記録されている部分に限る。)の一般の利用を制限することができる。

(二) 公にすることにより、当該法人等又は当該個人の権利を害するおそれがあるもの

(二) 営業秘密(不正競争防止法(平成五年法律第四七号)第二条

第四項に規定する営業秘密をいう。)であつて、当該情報を公にすることにより、当該法人等又は当該個人の利益を不当に害するおそれがあるもの(当該情報が記録されている学術的資料の作成又は取得の日の属する年度の翌年度の四月一日から起算して八〇年を経過していないものに限る。)

四 学術的資料に第一項第一号ハに掲げる情報が記録されていると認められる場合において、次に掲げるおそれが明白であると認めるときにつき相当の理由があるときは、文書館長は、当該学術的資料(当該情報が記録されている部分に限る。)の一般の利用を制限することができる。

(一) 国の安全が不当に害されるおそれ

(二) 他国又は国際機関との信頼関係が不当に害されるおそれ

(三) 他国又は国際機関との交渉上重大な不利益を被るおそれ

第五条 前条各項に掲げる一般の利用の制限に関し、不服がある者は、その旨文書館長に申し出ることができる。

二 文書館長は、前項に規定する不服の申出があつた場合は、文書館運営委員会に諮つた上で、当該申出に係る回答を遅滞なく行うものとする。

(利用者の責任)

第六条 利用者は、学術的資料に含まれる情報を利用することによつて著作権、プライバシー等第三者の権利利益を侵害したときは、その一切の責任を負うものとする。

(開館日)

第七条 文書館は、利用に関する業務を実施するため、次に掲げる日を除き、毎日開館する。

(一) 日曜日及び土曜日

(二) 国民の祝日に関する法律(昭和二十三年法律第一七八号)に規定する休日

(三) 一二月二十八日から翌年の一月四日までの日

(四) その他法令により休日に定められた日

二 文書館長は、前項本文の規定にかかわらず、学術的資料の整理等のため特別な必要がある場合は、臨時に、文書館の業務の一部又は全部を休止することができる。この場合には、文書館長は、事前にその旨を公示する。

(利用時間等)

第八条 文書館の利用時間は、午前九時三〇分から午後四時三〇分までとする。

二 学術的資料の閲覧の申込受付は、午前九時三〇分から午前一一時四五分まで及び午後一時から午後四時までの間とする。

三 文書館長は、前二項の規定にかかわらず、特別な必要がある場合は、臨時に、開館時間又は閲覧の申込みができる時間を変更することができる。この場合には、文書館長は、事前にその旨を公示する。

(閲覧室の利用等)

第九条 閲覧室の利用を希望する者は、別記様式第一号の広島大学文書館閲覧室利用申込書(以下「利用申込書」という。)を閲覧室内



の受付（以下「利用受付」という。）に提出し、別記様式第二号の広島大学文書館閲覧室利用カード（以下「利用カード」という。）の交付を受けるものとする。ただし、申込日に限って利用を希望する者については、利用カードの交付を省略することができる。

二 利用カードの交付を受けた者は、次回以降閲覧室に入室する際、利用カードを利用受付に提出するものとする。

三 利用カードの有効期間は、一年を超えない範囲内で文書館が定める。

第一〇条 学術的資料の閲覧を希望する者は、別記様式第三号の閲覧申込票を利用受付に提出するものとする。

第一条 学術的資料の閲覧は、閲覧室内で行うものとする。

（返却）

第二条 学術的資料の返却は、利用受付において係員の確認を得て行うものとする。この際、翌日以降も引き続き閲覧を希望する資料については、その旨を申し出るものとする。

（複写・撮影の申込み）

第三条 学術的資料の複写又は撮影を希望する者（以下「複写希望者」という。）は、あらかじめ別記様式第四号の複写申込書を文書館長に提出して、その許可を得なければならない。

（複写・撮影の方法）

第四条 学術的資料の複写は、文書館長が指名する者が行うものとする。

二 前項の規定にかかわらず、文書館長が特に必要と認めた場合は、

別に定めるところにより、複写希望者が複写することができる。

三 学術的資料の撮影は、複写希望者が持参した撮影機器により行うものとする。この際、複写希望者はその複製一部を文書館に寄贈するものとする。

（複写・撮影の費用）

第五条 複写又は撮影に要する費用は、複写希望者が負担するものとする。

（複写物の出版等）

第一六条 学術的資料の複写物を出版、放映等のために利用を希望する者は、別記様式第五号の出版掲載等利用承認申請書を文書館長に提出し、その承認を得なければならない。

二 前項の出版掲載等利用承認申請が、出版物（電子出版物、マイクロフィルムによるものを含む。）を有償で頒布するためのものである場合又は営利を目的として利用するためのものである場合は、文書館長は、その承認に当たり、別に定めるところにより、学術的資料の出版掲載等使用料を徴収することができる。

三 複写物の利用により生じる著作権法上その他の責任は、当該複写物を利用した者が負うものとする。

四 複写物の利用に際しては、文書館の所蔵する学術的資料であることを明記するものとする。

五 複写物を利用した者は、当該複写物を利用した出版物等を文書館に寄贈するものとする。

(レファレンス)

第一七条 文書館長は、次に掲げるものについてレファレンスを行うことができる。

(一) 学術的資料の検索

(二) 学術的資料の内容に関する情報の提供

(三) 学術的資料に関する参考文献、他の公文書館等に関する情報の提供

二 前項の規定にかかわらず、文書館長は、次に掲げる場合はレファレンスを拒否することができる。

(一) 史資料等の鑑定、解読又は翻訳、法律相談、学習課題の回答  
その他文書館の業務として対応することが適当でないと思

えられるとき。

(二) 回答に著しく費用又は時間を要することが明らかである場合  
等、他の業務の遂行に著しい支障を及ぼすおそれがあるとき。

(展示)

第一八条 文書館長は、学術的資料を一般の観覧に供するため、文書館内等において当該学術的資料を展示することができる。

(貸出し)

第一九条 文書館長は、他の機関から学術研究、社会教育等の公共的目的を持つ行事等に出品するため、学術的資料の貸出しの申込みがあった場合は、別に定めるところにより、当該学術的資料を貸し出すことができる。

(入館の拒否等)

第二〇条 文書館長は、他の利用者に迷惑を及ぼした者又は及ぼすおそれのある者及び学術的資料を滅失、破損若しくは汚損を生じさせた者又は生じさせるおそれのある者に対して、退館を命じ、又は入館を拒否することができる。

二 文書館長は、この内規若しくはその他の規則等に違反し、又は文書館長の指示に従わない者に対して、学術的資料の利用を停止することができる。

(弁償の責任)

第二一条 利用者は、その責に帰すべき事由により、施設、物品若しくは学術的資料を滅失し、破損し、又は汚損したときは、その損害を賠償するものとする。

(雑則)

第二二条 文書館長は、利用者の閲覧に供するため、学術的資料の目錄及びこの内規を常時閲覧室内に備え付けるものとする。

附 則

この内規は、平成一六年四月一日から施行する。

附 則 (平成一七年四月二二日 一部改正)

この内規は、平成一七年四月二二日から施行し、平成一七年四月一日から適用する。

附 則 (平成二三年四月一日 一部改正)

この内規は、平成二三年四月一日から施行する。

附 則（平成二七年三月四日 一部改正）

この内規は、平成二七年四月一日から施行する。

別表（第四条第二項関係）

一般の利用を制限する学術的資料に記録されている情報	該当する可能性のある情報の類型の例（*一）	経過年数（*二）
個人の秘密であつて、当該情報を公にすることにより、当該個人の権利利益を不当に害するおそれのあるもの	イ. 学歴又は職歴 ロ. 財産又は所得 ハ. 採用 選考又は任免 ニ. 勤務評定又は服務	三〇年以上 五〇年未満
個人の重大な秘密であつて、当該情報を公にすることにより、当該個人の権利利益を不当に害するおそれのあるもの	イ. 国籍、人種又は民族 ロ. 家族、親族又は婚姻 ハ. 信仰 ニ. 思想 ホ. 伝染性の疾病、身体の障害その他の健康状態	五〇年以上 八〇年未満
個人の特に重大な秘密であつて、当該情報を公にすることにより、当該個人及びその遺族の権利利益を不当に害するおそれのあるもの	イ. 門地 ロ. 遺伝性の疾病、精神の障害その他の健康状態 ハ. 犯罪歴又は補導歴	八〇年以上

（備考）

\*一. 該当する可能性のある情報の類型の例とは、この表の左欄にいう「個人の秘密」、「個人の重大な秘密」又は「個人の特に重大な秘密」にそれぞれ該当する可能性が考えられる一般的な情報の類型を例示したものであつて、学術的資料に記録されている情報に対するこの表の適用に当たっては、当該情報の具体的性質、当該情報が記録された当時の状況等を総合的に勘案して個別に判断するものとする。

\*二. 経過年数とは、当該情報が記録されている学術的資料の作成又は取得の日の属する年度の翌年度の四月一日から起算して経過した年数をいう。

別記様式第一号（第九条第一項関係）

広島大学図書館閲覧室利用申込書

〔別紙参照〕

別記様式第二号（第九条第一項関係）

広島大学図書館閲覧室利用カード

〔別紙参照〕

別記様式第三号（第一〇条関係）

閲覧申込票

〔別紙参照〕

別記様式第四号（第一三条関係）

複写申込書

〔別紙参照〕

別記様式第五号（第一六条第一項関係）

出版掲載等利用承認申請書

〔別紙参照〕

別記様式第1号(第9条第1項関係)

広島大学文書館閲覧室利用申込書

(注) 太線枠内の事項を記入してください。(ゴシック体の記入事項は必ずお書きください。)

広島大学文書館長 殿		平成	年	月	日
フリガナ 氏名 Name	電話番号 Phone		-	-	
住所 Address	〒 -				
職業・所属等	広島大学関係者の方 <input type="checkbox"/> 職員(教員) <input type="checkbox"/> 職員(教員以外) <input type="checkbox"/> 学部生 <input type="checkbox"/> 大学院生 <input type="checkbox"/> 研究生・科目等履修生 <input type="checkbox"/> 旧教職員 <input type="checkbox"/> 卒業生 <input type="checkbox"/> 修了生 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 上記以外の方 <input type="checkbox"/> 教員 <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 団体職員 <input type="checkbox"/> 報道関係 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
目的(調査事項又は研究主題等)					

※ 利用者がその責に帰すべき事由により、施設、物品又は所蔵資料を滅失し、破損し、若しくは汚損したときは、その損害を賠償するものとされていることをご承知の上お申し込みください。

利用番号		有効期間	平成	年	月	日	～	平成	年	月	日	受付印
備考	本日のみ											
館長	館員											

別記様式第2号(第9条第1項関係)

(表 面)

広島大学文書館閲覧室 利用カード	
利用番号	平成 年 月 日から
現住所	有効期間 平成 年 月 日まで
氏名	広島大学文書館

(裏 面)

・閲覧室に入室する際は、この利用カードを提出してください。 ・この利用カードは、本人以外には使用できません。 ・記録等に含まれる情報を利用することによって、著作権、プライバシー等第三者の権利利益を侵害したときは、利用者がその一切の責任を負うこと。	開館日 月 曜日～金曜日 館上層目、12月28日～ 開館時間 9:30～18:30 利用申込時間 9:30～11:45 13:00～18:00 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 電話082(42)0630 (代)
---	---

横5.4センチメートル  
縦8.5センチメートル

別記様式第3号(第10条関係)

閱 覧 申 込 票

平成 年 月 日		利用番号 フリガナ 氏 名	
請求番号	リール番号	記録等名、マイクロ・コマ番号	冊数

- (注) 1 太線わく内の事項を記入してください。  
 2 マイクロフィルム化されているものは、原則マイクロフィルムによる閲覧になりますので、請求番号及びリール番号、マイクロ・コマ番号を記入してください。

備考	
----	--

別記様式第4号(第13条関係)

複 写 申 込 書

受付印

広島大学図書館長 殿		平成 年 月 日
利用番号	フリガナ	
利用目的		
支払方法	<input type="checkbox"/> 公 費 <input type="checkbox"/> 私 費    送付先 請求宛名    (申請した住所)    電話 (異なる場合)	
請求番号	記録等名	複写部分 マイクロ・コマ番号等
リール番号		
複写の種類	<input type="checkbox"/> 電子式複写(コピー) 用紙 (B5・A4・B4・A3)    モノクロ・カラー <input type="checkbox"/> 写真複製    フォトリソグラフィ・デジタルカメラ    モノクロ・カラー <input type="checkbox"/> マイクロリ    ネットワークプリンター    モノクロ・カラー <input type="checkbox"/> マイクロフィルム    タブレット    モノクロ・カラー <input type="checkbox"/> その他(    フォトリソグラフィの複製作成)	

(注) 太線わく内の事項を記入してください。

下記事項に異存ありません。

記

- 1 複写を行うことにより、原本等を損傷させるおそれがあることが判明した場合は、複写を行わないことに同意すること。
- 2 著作権法上その他の責任が生じた場合は、申込者がその責任を負うこと。
- 3 撮影を行った際には、複製一部を広島大学図書館に寄贈すること。
- 4 複写物を出版複製等に使用する場合には、出版複製等利用承認申請書を提出すること。

別記様式第5号(第16条第1項関係)		承認年月日
決裁	館長 員	平成 年 月 日

出版権等利用承認申請書

平成 年 月 日

広島大学文書館長 殿

機関名・責任者名 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

印 \_\_\_\_\_

1. ①資料名及び請求番号 \_\_\_\_\_  
 ②使用部分 \_\_\_\_\_

2. 利用形式 \_\_\_\_\_

3. 出版物等の題名(書名) \_\_\_\_\_

4. ①出版社等 \_\_\_\_\_ ②著者(編者) \_\_\_\_\_

5. ①発行予定部数 \_\_\_\_\_ ②頒布予定価格 \_\_\_\_\_

6. 出版物等における当前所蔵資料の利用割合 \_\_\_\_\_  
 (※記載例 全○○巻のうち○○巻、全○○頁のうち○○頁、○○% 等)

7. 発行・放送予定年月日 \_\_\_\_\_

下記事項に異存ありません。

記

- 1 著作権法上その他の責任が生じた場合は、申請者とその責任を負うこと。
- 2 記載事項に変更が生じた場合は、必ず広島大学文書館長に申し出る。
- 3 出版権等に関する際は、広島大学文書館所蔵のものである旨及び原本の題名を表示すること。
- 4 出版物等は広島大学文書館に寄贈すること。

※ 当館所蔵資料の複写物を利用した出版物等を有償で頒布する場合は、出版物等における当館所蔵資料の利用割合等によって、別途取り決めが必要になる場合があります。



広島大学文書館運営委員会委員名簿

(二〇一六年二月一日現在)

委員長

小池 聖 一 (文書館長)

委員

- 大瀧 慈 (文書館副館長、原爆放射線医科学研究所教授)  
 大淵 学 (文書館副館長、副理事(財務・総務企画担当))  
 高橋 努 (副図書館長)  
 栗林 元 信 (教育・国際室教育支援グループリーダー)  
 坂口 浩 司 (学術・社会産学連携室学術支援グループリーダー)  
 村上 尚 (学術・社会産学連携室社会連携グループリーダー)  
 宮脇 克 也 (財務・総務室総務グループリーダー)  
 木船 直 人 (東千田地区支援室長)  
 三分一 恒 男 (副理事(病院経営担当)、病院運営支援部長)  
 小宮山 道 夫 (文書館准教授)  
 布川 弘 (大学院総合科学研究科教授)  
 金子 肇 (大学院文学研究科教授)  
 下向井 龍 彦 (大学院教育学研究科教授)  
 川野 徳 幸 (平和科学センター教授)  
 石田 雅 春 (文書館助教)  
 村上 淳 子 (文書館専門職員)

広島大学文書館顧問名簿

(二〇一六年二月一日現在)

- 伊藤 隆 (東京大学名誉教授)  
 大濱 徹 也 (筑波大学名誉教授・国立公文書館フェロー)  
 梶川 昭 彦 (元山陽ウエルマート株式会社代表取締役社長・元マックスバリュ西日本株式会社常務取締役管理担当)  
 梶山 美那江 (故梶山季之氏夫人)  
 金井 宏一郎 (元株式会社中国放送社長)  
 戸高 一 成 (呉市海事歴史科学館長)  
 平岡 敬 (元広島市長)  
 頼 祺 一 (広島大学名誉教授)

広島大学文書館員名簿

(二〇一六年二月一日現在)

- 館長 小池 聖 一 (大学院国際協力研究科教授)  
 副館長 大瀧 慈 (原爆放射線医科学研究所教授)  
 大淵 学 (副理事(財務・総務企画担当))  
 森戸辰男記念文庫長 小池 聖 一 (併任)  
 平和学術文庫長 布川 弘 (大学院総合科学研究科教授)

梶山季之文庫長

石田雅春(助教)

大学史資料室室長

石田雅春(助教)

公文書室室長

村上淳子(専門職員)

館員

小宮山道夫(准教授)

石田雅春(助教)

村上淳子(専門職員)

事務

打田典恵(事務補佐員)

大判美緒(事務補佐員)

アルバイト

菊池達也(事務補佐員)

斎藤拓海(事務補佐員)

酒井真(事務補佐員)

班婷(事務補佐員)

平岡勇人(事務補佐員)

平下義記(事務補佐員)

広島大学文書館研究員名簿

(二〇一六年二月一日現在)

岡田泰司(霞地区運営支援部国際室主査)

勝部真人(大学院文学研究科教授)

川野徳幸(平和科学研究センター教授)

下田修二(副理事(霞地区運営支援担当・霞地区運営支援部長))

鈴木理恵(大学院教育学研究科教授)

塚本俊明(産学・地域連携センター教授)

中山富廣(大学院文学研究科教授)

布川弘(大学院総合科学研究科教授)

宮脇克也(財務・総務室総務グループリーダー)

森邊成一(大学院社会科学研究科教授)

山田浩之(大学院教育学研究科教授)

広島大学文書館客員研究員名簿

(二〇一六年二月一日現在)

阿部武司(国士舘大学政経学部教授)

伊藤純郎(筑波大学人文社会科学研究所(歴史・人類学専攻)教授)

岩壁義光(学習院大学史料館客員研究委員・東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所フェロー)

岩崎文人(ふくやま文学館館長・広島大学名誉教授)

折田悦郎(九州大学人文科学研究科教授)

貝塚茂樹(武蔵野大学教育学部教授)

梶田明宏（宮内庁書陵部編修課主任研究官）  
 金田晋（広島大学マスターズ代表幹事）  
 烏田直哉（東海学園大学人文学部発達教育学科講師）  
 菅真城（大阪大学アーカイブズ教授）  
 小林信介（金沢大学人間社会研究域経済学経営学系准教授）  
 小山清（元広島大学附属高等学校副校長・百年史編纂室長）  
 定兼学（岡山県立記録資料館館長）  
 新谷恭明（九州大学人間環境学研究院教育学部門教授）  
 季武嘉也（創価大学文学部人文学科教授）  
 瀬畑源（長野県短期大学助教）  
 田中卓也（共栄大学教育学部准教授）  
 中生勝美（桜美林大学リベラルアーツ学群〈文化人類学専攻〉教授）  
 永島広紀（佐賀大学文化教育学部准教授）  
 中野目徹（筑波大学人文社会科学部研究科教授）  
 中見立夫（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授）  
 西山伸（京都大学文書館教授）  
 橋本昭彦（国立教育政策研究所教育政策・評価研究部総括研究官）  
 檜山幸夫（中京大学法学部教授）  
 福永文夫（獨協大学法学部教授）  
 船寄俊雄（神戸大学人間発達環境学研究科教授）  
 村上須賀子（NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会理事）  
 渡辺一弘（会津大学短期大学部社会福祉学科教授）

広島大学文書館調査員名簿

（二〇一六年二月一日現在）

志津木敬（FDアドバイザー）  
 新名一仁（鹿兒島大学非常勤講師）  
 下向井紀彦（公益財団法人三井文庫研究員）  
 劉金鵬（広島大学大学院文学研究科研究補助職員）